

第七十四回
帝國議會
貴族院

森林法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十四年三月六日(月曜日)午前十時八分開會

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ開會致シマス、政府ニ對シ質問ノ御アリニナル委員ノ方ハ……

○山本米三君 チョット此ノ際參考資料ノ御追加要求ヲ致シタイト思ヒマス、前ニ頂戴ヲ政シマシタ參考資料ノ第六ノ分デアリマス、六ノ分ニ北海道ガナイヤウニ思ヒマスガ、ドウカ追加致シマシテ御願ヒ致シマス

○政府委員(村上富士太郎君) 第六ト申シマスト何デゴザイマスカ

○山本米三君 「最近十箇年間ニ於ケル府縣有民林要造林總地積ニ對スル造林事業ノ進捗狀況」ソレデゴザイマス、北海道ノ分ガドウモ無イヤウデゴザイマス、質問ニ入りタイト思ヒマス、私方第一御尋ネ申シタウゴザイマスノハ、本改正案ハ民有林ノ總テヲ施業案ヲ以テ統制ヲ致スノデゴザイマス、之ニ依ッテ林業國策ヲ樹立スル劃期的大改正デアリマスニ拘ラズ、政府ノ監督ヲサレテ居リマス所ノ國有林ガ之ニ殘サレテ居ルノハ甚ダ不審ニ存スルデアリマス、即チ民間ノ森林ハ全國的ニ統一シタ法律ノ下ニ、キツチリ

ト一齊ニ施業案ヲ實行セラル、ニ拘リマセズ、政府ノ御手許ニ在ル國有林ハ農林省所管ノモノモアリマスレバ、内務省所管ノモノモアリマスルシ、又拓務省所管ノモノモアリマシテ、區々ニナリマスル關係上、連絡等ハ御付ケニナルノデハゴザリマセウガ、其ノ方針ガ先ヅ一定シニクイコトニナルノデアリマス、ソレデハ本改正案ノ趣旨ニモ悖ルモノデハナイデアラウカ、之ニ對シマスル政府ノ御答辯ヲ御願ヒ致シタイトデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今山本委員ノ御質疑ニナリマシタコトハ、國有林ニ對スル所ノ施業ニ付キマシテハ、當初カラ一定ノ施業案ヲ立テテ居ルノデアリマシテ、モウ既ニ之ヲ實行致シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○山本米三君 私ノ申上ゲマスルノハ國有林ニ施業案ガアッテ、施業案ガ施行セラル、ト云フコトヲ御尋ネ申シタノデハナイノデアリマス、非常時局ノ下ニ總テノ民業ノ開發ヲ圖リマスル爲ニ、此ノ森林法ガ改正サレマシテ、有ヤル森林ヲバ活動サセルト斯ウ云フ風ノ御考ノ下ニ出來マシタ以上、

ソレガ民間デアルト、或ハ政府監督トニ拘リマセズ、總テ活動スベキモノデアラウト思フノデゴザイマスガ、只今私ノ御問ヒ致シマシタ趣旨ハ、此ノ施業案デ民間ノ森林ガ總テ動クコトニナル、政府ノ統一ノ下ニ歸スル、併シナガラ政府ノ監督セラル、國有林ハ所管ヲ異ニスルモノガアルノデゴザリマスルカラ、之ヲ如何ニ御統一ニナルカ、斯ウ云フノガ私ノ問デゴザイマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 山本委員ノ御質問ハ二通りニ私拜聽シタノデアリマス、一ツハ民有林ニ對シテ施業案ヲ施ス以上ハ、政府モ之ニ對シテ、政府ノ國有林ニ對シテ施業案ヲ矢張り等シク施行シテ、一定ノ規律ノ下ニ置クベキモノデハナイカト云フノガ一點ノヤウニ思ヒマス、ソレハ只今申上ゲマシタ通り、現在ニ於テ施業案ヲ施行致シテアルノデゴザイマス、後ノ一點ハ政府ノ森林ニ對スル所ノ總テノ監督取締、其ノ他ニ付テ異ッテ居ル分ガアルヤウニ思フガ、之ヲ統一シテハドウカト云フ風ニ拜聽スルノデアリマスガ、之ハ今日北海道廳及ビ樺太廳等ノ森林ニ對スル分ト、國內ノ森林ニ對スル分トハ御承知ノ通り監督官廳ガ異ッ

テ居リマス、從ヒマシテ各々所管ヲ異ニ致シテ居リマスガ、其ノ間ニ於キマシテハ常ニ緊密ノ連絡ヲ執リマシテ、一定ノ方針ニ於テ施業案上遺憾ナキヲ期シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○山本米三君 今回ノ改正ニ對スル御方針ト致シマシテハ、先ヅ只今ノ御答辯ニ依リマシテ了承ヲ致スコトニ致シマスルデゴザリマスガ、既ニ私方第二ニ御問ヒ申シマスル問題ニ御觸レ下スタヤウニ實ハ考ヘルノデアリマス、私ハ此ノ法律ノ改正ニ依リマシテ、矢張り政府ノ監督ノモノモ共ニ俱ニ總動員ヲスルノガ至當デアラウ、バラ／＼ニナルベキモノデナイト、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、此ノ法律案ノ改正ニ依ッテ其ノ御方針ヲ伺ッタノデゴザイマスガ、我々ノ考デハ拔カサレテ居ルモノト考ヘルノデスガ、政府ノ方デハ密接ナル連絡ヲ付ケルコトニ依ッテ統一ガ成ルモノデアルト實ハ解スルノデアリマス、ソレ以上ハ御尋ネ申スコトハ止メマシテ、只今既ニ御觸レニナリマシタ第二ノ問題ニ付テ、モウ少シク承リタイト思ヒマス、詰リ是ハ森林行政ノ統一問題トモ申スベキモノト思フノデアリマス、森

林行政ニ付キマシテハ、須ク我國全部ヲ通ジマシテ一貫シテ政策ニ依ッテ森林ト云フモノハ運営セラレネバナラスト思フノデアリマス、今日我國ノ實情ハ農林省ガ内地ノ大部分ヲ管轄サレテ居リマス、北海道、樺太、朝鮮、臺灣、ソレノ特殊ノ機關ニ依ッテ監督サレテ居ルノデアリマス、其ノ連絡統一ト云フモノガ、何ト致シマシテモ官廳ヲ異ニスル以上、緊密ナル連絡ト云フコトハムツカシイノデアリマシテ、到底統一シタル森林行政ト云フモノハ、農林省ヲバツノマア參謀本部トデモ申スカ、之ヲ主體トシテ、サウシテ全國土ニ矢張り絕對ノ行政權ヲ獲得ナサレバ、決シテ統一シタ所ノ行政ト云フモノハ執レルモノデハナイ、時局下林業ノ重要性ニ鑑ミマシテ、之ヲ御統一ナサル所ノ御方針ヲ有セラレルヤ否ヤヲ承リタイ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ御話ノ如ク林業ヲ總テノ方面ニ對シテ一貫ヲ致スト云フコトハ最モ理想ト致ス所デアリマスガ、唯御承知ノ通り從來北海道ニハ特殊ノ關係ガアリマシテ……特殊ノ補助ヲ致サナケレバナラス關係ガアリ、又開發モ致サナケレバナラス關係モアッタノデアリマス、又植民地ニ於キマシテモ矢張り其ノ通デアリマシ

テ、樺太、朝鮮其ノ他ニ付キマシテモ從來ハ異ツタ角度ニ於テ之ヲ指導シテ行カナケレバナラス點ガアッタノデアリマス、從ヒマシテ個別々ニ林業行政ヲ行ッテ居ッタノデアリマスガ、是ハ今御話ノ如ク統一シタル機構ノ下ニ之ヲ監督致スコトハ最モ望マシイコトデアリマシテ、此ノ問題ニ付キマシテハ其ノ點ニ付テ御話ノ如キ狀況ニ立到ルヤウニ目下色々ナル調査、研究ヲ致シマシテ、統一シタイト思ッテ居リマス、今回ノ施業案ニ付キマシテハ、是ハ北海道ニモ等シク、北海道ノ民間ニ對シテハ之ヲ實施致スノデアリマス、唯樺太ハ少シク事情ガ違ヒマシテ、今直チニ之ヲ實施スルト云フコトニハ致シテ居ラナイ次第デアリマス

○山本米三君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、北海道ナリ樺太其ノ他ニ於キマス森林行政ヲ統一スルト云フコトニ、御考慮ヲ御持チニナッテ居ルモノト實ハ思ヒマス、既ニ御存ジノ如ク北海道ト致シマシテハ、最早拓殖ノコトモ既ニ經マシテ、今日デハ森林ハ農林省ニ移シテモ、敢テ差支ガナイヤウニ思フ、矢張り其ノ時ノ狀態ニ應ジマシテ、仕事ヲ御統一ニナルコトガ主要デアラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、能ク研究シテ考慮スルト云フ御意見デゴザイマスガ、此ノ間

題ハ満足スル所デゴザイマス、次ニ本改正案ガ施行サレマス上ニ於キマシテ、木材ノ需給關係ガ如何ナコトニナリマスガ、木材「パルプ」ノ問題、及ビ其ノ他ニ付テノ御所見ヲ御伺ヒ致スノデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 木材ノ「パルプ」ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ今日御承知ノ通り國際關係ノ上カラ綿布ガ入りマセス結果、人絹及「ステープル・ファイバー」ノ方ニ此ノ需要ガ起リマシテ、其ノ結果歐洲ヨリノ木材ヲ輸入スルコトハ、是亦國際貸借ノ關係上甚ダ思ハシクナイノデアリマシテ、出來ル限り國內カラ之ヲ供給致シタイ、又紙ノ資料ニ致シマシテモ、等シク國內ニ於テ之ヲ自給致シタイ、斯ウ云フ考ヲ以テ種々調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ申ス迄モナク木材ノ濫伐ヲ致シマスガ如キコトガアリマシテハ、是ハ治山治水ノ關係上、重要ナル影響ガ起ッテ來マスガ故ニ、此ノ點ニ付キマシテハ特ニ最モ注意ヲ致サナケレバナリマセヌノデ、農林省ニ於キマシテハ此ノ資料ヲ搬出致シマスニ付キマシテハ、十分ナル監督ヲ致シマシテ、適當ニ伐出ヲ致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、國有林ハ固ヨリデアリマスガ、民間ノ木材ヲ伐リ出スニ付キマシテモ

相當ニ監督ヲ致サナケレバナラスト思ッテ居リマス、今回ノ施業案ニ付キマシテ國民ノ協力ヲ求メル所以ノモノモ、亦其ノ目的ノ一ツハ茲ニアルノデアリマシテ、一定ノ施業案ヲ設ケテ、一定ノ木材ヲ伐リ出ス計畫ヲ樹テテ、其ノ計畫ニ依ッテ伐リ出ス、サウシテ伐リ出シタ後ニ於テハ造林ヲ致ス、サウシテ治山治水ノ上ニ於テ惡影響ノナイヤウニ致シタイト同時ニ、ソレ等ノ資料ヲ成ルベク低廉ニ供給出來ル途ヲ講ジタイト云フ關係カラ、一定ノ計畫ヲ樹テテ、林道其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、今後大イニ之ガ普及ニ努力致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、「パルプ」ノ資料供給ニ付キマシテハ、十分ナル研究ヲ致シテ萬遺憾ナキヲ期シタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 山本君ニチヨット申上ゲマス、大臣ハ是ヨリ衆議院ノ方ニ據ロナク御出席ニナラナケレバナラス用ガアルサウデアリマス、後ノ御質問ハ、此ノ次ノ大臣ノ御出席迄御保留願ヘマスマイカ

○山本米三君 承知シマシタ、ソレデハ大臣以外ノ方ノ問題ダケヲ……、只今農林大臣ヨリ木材「パルプ」ノ自給問題ニ付テ御方

針ヲ承リマシタガ、ドウカ一ツ數字ニ付テノ山林局長ノ御説明ニ與リタイト思ヒマス

シテ「パルプ」資材トシテ増伐ヲ要シマスルモノガ、大體ノ計算デゴザイマスガ百七十萬石更ニ増伐ヲ致ス、斯ウ云フヤウナ計算ニ

ル、ソレカラ枕木、電柱等、是ハ内地ノ電柱用材トシテサウ殖エル譯デハアリマセスガ、是モ枕木用材ハ五十萬石、電柱用材三

斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○政府委員(村上富士太郎君) 木材「パルプ」ノ自給問題ニ付キマシテハ、昨年ノ一月カト思ヒマスガ、企畫院ニ於キマシテ農

萬石更ニ増伐ヲ致ス、斯ウ云フヤウナ計算ニナッテ居リマス、ソレデ此ノ計畫ニ伴フ所

十萬石近ク殖エルト思ヒマス、左様ナ次第デアリマシテ、是等ノ計畫ハ次第ニ殖エ

○山本米三君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、大體ヲ拜承シタノデゴザイマスガ、此ノ改

林省、北海道廳、ソレカラ拓務省其ノ他ガ集リマシテ、ソレニハ商工省モ加リマシテ、

算トシテ成立致シマシテ、著々實行中デゴザイマス、又民有林ノ百餘萬石ニ付キマシ

マシテハ、是ハドウモ軍需ト云フヤウナモノガ入リマスノデ、遠クノ昭和十七年

又間伐ノ獎勵ヲ爲スコトニ依ッテ増産ヲ御

昭和十七年ニ滿洲國ヨリ一部入レルコトニ依ッテ、内地ニ於ケル所ノ製紙「パルプ」竝

テハ、是ハ間伐材ヲ主トシテ採ルト云フ計畫ノ下ニ、昨年來實行中デゴザイマシテ、

ト云フヤウナ見透シハ是ハチヨット今何トモ申上ゲ兼ネマス、左様ナ次第デアリ

伊タナケレバナラスノデゴザイマスノデ、差當リノ不足ト云フモノハ、矢張り樺太、

地及ビ北海道ニ於テ相當増伐ヲ致サナケレバナライイト云フコトニナリマシテ、其ノ

迄出テ參リマシタモノハ二百萬石ニ上ッテ、本年ハ尙二百五十萬石位ニ殖エル計算デア

マス、一般的ニ見マシテ木材ノ用途ガ、「パルプ」用材ト相俟チマシテ次第ニ殖エテ

北海道ノ方面ノ國有林ヨリ之ヲ御供給ナサルヨリ外ハナイト思フノデアリマス、内地

結果内地ニ於テ増伐致シマスルモノガ、國有林ニ於キマシテ八十五萬石、ソレカラ民

リマスカラ、今ノ百萬石位ノモノハ十分補ッテ餘リアルモノトスル、左様ナ計畫デアリ

行クト云フコトハ、是ハ免レナイト思ヒマス、之ニ對スル對策ト致シマシテハ、

ノ國有林ノ面積トシマシテハ四百二十萬町步デ、十二年度ノ伐採量ヲ見マス

有林ニ於キマシテ百餘萬石、合計百九十五萬石ヲ昭和十七年度迄ニ次第二増伐スル、

一面ニ於キマシテハ、内地ニ於キマシテハ間伐ノ厲行ト云フコトガ必要デア

ハ間伐ノ厲行ニ依リマシテ、私共ハ明後年以降ニ於キマシテ、大體四百萬石位ナ増

萬町步、同ジク十二年度ノ伐採量ガ約一千萬石、樺太國有林ハ二百九十二萬町步デ、

ソレカラ北海道ニ於キマシテ、國有民有兩方ヲ通ジマシテ二百三十三萬石餘、之ヲ増

伐スル、之ニ依ッテ大體昭和十七年度ニ於キマシテ「パルプ」ノ自給計畫ヲ確立スル、斯

ウナッテ居リマス、之ヲ見マスルト北海道、樺太ハ内地ニ況ベマス

ウナッテ居リマス、之ヲ見マスルト北海道、樺太ハ内地ニ況ベマス

ウ云フヤウナ豫定ニナッテ居リマス、併シ其ノ後内地ニ於キマシテ、「パルプ」會社等モ

更ニ生産力ヲ擴充シタイヤウナ關係ガアリマスノデ、之ヲ昨年ノ十二月ニ更ニ改訂致

シマシテ、其ノ結果尙内地、北海道ニ於キマシテ、大體ニ於テ木材ノ需要ヲ充シ得ル、

量ヲ得ルコトハ、矢張り北海道、樺太ニ依ルヨリ外ハナイト思フノデアリマスガ、是

等ノ點ニ關シマシテ北海道廳、樺太廳ニ於ケル森林ノ實情ト、之ニ對スル御方針ヲ兩長官ニ御伺フ致シタイ

○政府委員(半井清君) 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、北海道ニ於キマシテハ從來、只今御述ニナツタノデゴザイマスガ、昭和十二年度ノ伐採量ガ、立木ノ材積デ二千六百六十四萬石餘ニ相成ツテ居ルノデアリマス、其ノ後十三年度以降、バルブ「資材」ノ供給其ノ他ノ問題ガ起キマシテ、實ハ北海道トシマシテモ、從來ノ施業計畫又伐採計畫ヲ持ツテ居リマスノデ、此ノ新シイ需要、又其ノ外軍需資材等ニ付キマシテノ要求モアリマスノデ、色々ソレ等ノ問題ヲ北海道ニ於テ解決致シマスル爲ニ研究調査致シマシテ結果、大體ニ於キマシテ只今山林局カラ御述ニナリマシタト同様ノ考ヲ以チマシテ、從來普通ノ方法デ伐採シ、又ハ利用スルコトノ出來ナカッタ山ノ中ニアリマスル木材ノ遺利ヲ出來ルダケ蒐集シマシテ、此ノ計畫ニ充テル、サウ云フコトニナリマスレバ、從來ノ計畫ヨリモ増伐致シマシテモ森林ノ將來ノ保護ノ上ニ支障ハナイト云フ結論ニ達シマシタノデ、從來山ノ中デ老齡ニナリマシタヤウナ木ナリ、或ハ利用スル途ガナカッタ枝材、小徑木材又ハ瀾葉樹ノ方面ニ其

ノ利用ヲ考ヘマシテ、精一パイノ増伐計畫ヲ考ヘマシテ、今日ソレニ依ツテ計畫ヲ立テ、居ルヤウナ次第デアリマス、十四年度ノ國有林ノ伐採量ヲ、立木ニ付テ之ヲ申上ガラスト云フト、大體九百五萬六千石ト云フコトニ考ヘテ居リマス、是ハ國有林ダケデアリマスルカラ、共ノ中デ普通用材ニ七百六十八萬石、「バルブ」資材ニ百三十七萬石ト云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、之ニ伴ヒマシテ國有林以外ノ或ハ御料林、民有林等ノ關係モ此ノ外ニアル譯デアリマス、大體サウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、是以上ノ増伐ト云フコトハ、到底北海道ノ將來ノ山林保護維持ヲ考ヘタ場合ハ、困難デアルト存ジテ居ル次第デアリマス、只今私數字ヲ申上ゲマシタガ、是ハ山間ニ於ケル被害木ハ除イテ計算致シテ居ルノデアリマシテ、ソレニ被害木ヲ加ヘマスト云フト、モウ少シ伐採數量ガ殖エテ參ルノデアリマス

○山本米三君 只今北海道ニ關スル大體ノ狀況及御方針ハ承ツタノデゴザイマス、大體此ノ國有林ノ施業案ハ、非常ニ窮屈ナモノニナツテ居ルノデゴザイマシテ、之ヲバモウ少シ彈力性アルモノトシテ輪伐期ヲ低下サセルト云フ風ナコトニ依ツテ、此際増産ヲ計畫セラル、ノガ適當デハアルマイカ、ドウシタ所デ此ノ時局トシマシテハ、木材ノ不足ハ内地材ヲ伐ルヨリ外ハナイノデアリマス、軍需關係ノ木材ニシマシテモ、又ハ輸出貿易ニ關スル包裝材ト云フヤウナモノニシマシテモ、之ヲ輸出スルコトニ依ツテ木材價格ニ十數倍シタ外貨ガ獲得スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、此ノ邊ヲ國策ニ準ジマシテ、餘リ嚴重ナ國有林ノ施業案ヲバ、モウ少シ緩メルト云フコトニ依リマシテ、増産ヲ計畫セラル、所ノ御考ハ、内地及北海道、樺太ハ無論デゴザイマスガ、總テニ於テノ御方針ト致シマシテ、サウ云フコトヲ御認ニナラスノデゴザイマセウカ、是ハ山林局長ナリ又北海道長官ニ御尋ネシマス

○政府委員(村上富士太郎君) 只今ノ施業案ニ於キマシテモ、二割内外ノ増伐或ハ減伐ヲ認メテ居リマス、尙國家非常時デアレバ、特ニ一層ノ必要ガ起リマスレバ、内地國有林ニ對シマシテモ二割以上ノ増伐ヲ致シテモ差支ナイ、必要ガアレバ左様ニ致シテモ宜シイト思ツテ居リマス、唯現狀ニ於キマシテハ、マダ其處迄到ツテ居ラナイト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、是ガ特殊工業材トカ、其ノ他特殊ノ事情ガ起リマスレバ、内地ニ於キマシテモソレノソレダケノコトヲ致ス準備ヲ持ツテ居リマス

○政府委員(半井清君) 只今山林局長カラ御答辯ガアツタノデアリマスルガ、北海道ニ於キマシテモ同様、國家ノ非常時ニ應ジマスル爲ニ、ドウシテモ是レ以上ノ増伐ガ必要デアルト云フコトニナリマスレバ、其ノ事態ニ應ジマシテ更ニ考究致シタイト思ツテ居リマス

○山本米三君 此ノ際北海道長官ニ御伺ヒシタウゴザイマスノハ、現在此ノ森林法中ノ保安林ノ條項ダケヲ北海道ニハ施行サレマシテ、他ノ條項ハ施行ヲセラレテナイノデゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(半井清君) 只今ノ御質問ノ點ハ、恐ラク此ノ森林法ノ規定ノ中ニ、北海道ニ本法ヲ適用スルニ付必要ナル事項ニ付テハ特例ヲ設ケルト云フコトガアリマスル、ソレニ關聯シテノ御尋デナイカト考ヘルノデアリマスルガ、北海道ニ於キマシテハ、全部此ノ森林法ノ規定ノ内容其ノモノハ適用サレルノデアリマシテ、唯此ノ行政官廳ノ系統ノ問題ダケガ、恐ラク特例トシテ施行令ニ依ツテ區別サレルノデナイカト考ヘテ居リマス

○山本米三君 了承致シマシテゴザイマス、

前刻承リマスルガ如ク北海道……樺太ハマ
ダ承リマセスガ……ト致シマシテ、「バル
プ」資材其ノ他ノ供給源ト致シマシテ、非
常ニ重要性ヲ持ッテ居ラル、所ノ此ノ北海
道竝ニ樺太、何處迄モ此ノ資源ヲバ愛護シ
テ、撫育シテ、其ノ林力ヲバ培養セラル、
ト云フ上ニ於キマシテ、無謀ノ増伐ハ出來
ナイト申サレルコトハ、是ハ御尤ト存ズル
ノデアリマス、非常時デアル以上國策ニ準
ジマシテ、内地材ヲ賄ッテ行カネバナラス
ト云フ、差當リノ場合ハ已ムヲ得ヌコトトシ
テ、増産ヲ圖ラレルノガマア至當デアラウ
カト思フノデゴザイマスガ、既ニ御意見ヲ
承リマシタノデ、是以上ハ御伺ヲ差控ヘル
コトニ致シマシテ、私ノ質問ハ一應之ヲ以
テ打切リマス

○絲原武太郎君 今回ノ森林法ノ改正ハ、

同法施行後三十有餘年ヲ閱シテ初メテノ改
正デアリマスルガ、其ノ目的トセラレマス
所ハ、時代ノ進運ニ副ヒタイト云フコトト、
一面ニハ最近ノ木材ノ需要ノ急ニ増加致シ
マシテ、濫伐ノ弊ノ甚ダシカラムトスルガ
爲ニ、此ノ際山林資源ノ保護増殖ヲ圖リ、
需給ノ調和ヲ保ツト云フ目的ニ出デラレタ
モノト考ヘラレルノデアリマス、サウ云フ
目的デアリト致シマスレバ、之ニ對シマシ

テ相當ナ茲ニ將來ニ對シマシテノ造林ノ國
策ヲ樹立セラレ、而シテ之ヲ實施セラル、
必要ガアリマスコトハ申ス迄モナイコトデ
ゴザイマス、大正十年カラ御承知ノ如ク、
遼ニ木材ノ需要ガ増加致シマシタ爲デアリ
マスカ、非常ナ木材ノ輸入國ト相成ツタノデ
アリマス、爾來木材ノ需要ハ我が國ノ人口
増加ト文化ノ發達、工業ノ進展ナドニ伴ヒ
マシテ、年ト共ニ益々増加ノ一途ヲ辿ッテ居
ル現狀デアリマス、之ニ加ヘマシテ、此ノ度
ノ支那事變ガ長期ノ覺悟ヲ要スルコトニ相
成リマシタ爲ニ、更ニ國策的ノ「バルプ」ノ
増産計畫、外國材ノ輸入制限等ニ依リマシ
テ、急激ニ國產材ノ需要ヲ増加致シマシタ
ト云フコトハ、既ニ御承知ノ通りデアリマ
ス、更ニ之ニ加ヘマシテ軍需用材、各鑛山
ノ大擴張ニ伴ヒマシテ、先刻御説明ニナリ
マシタ如ク坑木ノ需要、尙燃料國策ニ關係
致シマシテ、薪炭ノ新タナル需要ノ發生、
即チ「ガス」發生機ノ普及獎勵等ノコトヲ
考ヘマスト、木材ノ此ノ際ノ需要ハ實ニ夥
シイ増加ヲ齎スモノト云フコトハ、申ス迄
モナイコトデアリマス、然ルニ山村ノ狀況
ヲ見マスト、多年ニ互リマスル所ノ疲弊
困憊ト、林道ノ開設ガ不十分デアリマス爲
ヤ、或ハ森林金融ノ不振等ニ因リマシテ、

到ル處ニ早伐、過伐ニ陥ッテ居ル現狀モ見ラ
ル、ノデアリマス、是ガ故ニ跡地ノ造林ハ、
資力ノ關係上漸次放置セラレルノガ多イ有
様デアリマスルガ、此ノ爲ニ著シク植伐ノ
均衡ヲ失ヒマシテ、年々無立木地ノ増加ヲ
見テ居リマス所ノ、憂フベキ傾向ガアルノ
デアリマス、御配付ナリマシタ參考書ヲ拜
見致シマシテモ、要造林ノ面積ト造林未濟
ノ面積ヲ合セマスト、實ニ百六十三萬八千
餘町歩ト云フコトガ記サレテアリマス、私
ハ是以上ノ造林地ノ必要ヲ認メテ居ル者デ
アリマスルガ、假ニ御示ニナッタ通りノ造林
ニ必要ナ町歩ガ、即チ過伐町歩ガアルト致
シマシテモ、實ニ相當ナ面積デアアルノデア
リマス、併シナガラ一方考ヘテ見マスト、
林業ニ關係致シテ居リマス者ハ、國策上ノ
必要缺クベカラザル木材ハ、是ハドウデモ
供給セネバナラスト云フコトハ、固ヨリ申
ス迄モナイコトデゴザイマスルガ、ソレノ
ミナラズ更ニ進ンデ能ク考ヘマスト、國
土ノ保安ト森林資源ノ確保ニ對シマシテハ、
更ニ一層ノ最善ノ努力ヲ拂フコトモ、
亦林業者トシテ此ノ際致サネバナラス重大
ナル責任デアラウト考ヘルノデアリマス、
此ノ際ハ此ノ點ニ付キマシテ何レカラ見マ
シテモ、國民一般ガ森林ニ對シマスル認識

ヲ高メネバナリマセヌ大切ナ時機デアラウ
ト考ヘマスト共ニ、林業ハ御承知ノ如ク
長期ノ經營ニ屬スルコトデアリマスルガ故
ニ、自然ニ只今申上ゲマシタヤウナ必要ガ
アルニ致シマシテモ、其ノ施設ハ知ラズ識
ラズノ間ニ遅レ勝ニナッテ居ルノデゴザイ
マス、而シテ又二年ヤ三年ハ是ハ遅レテモ
差支ナイガラウト云フヤウナ觀念ガアルノ
デアリマス、先ニ申上ゲマシタ如ク現在ニ
於ケル所ノ我が國ノ木材需給ノ狀況ハ、最
近昭和十一年度ニ北海道ヲ除キマシタル内
地ノ用材ノ需要量ハ約七千三百萬石位デナ
イカト云フコトヲ申サレテ居リマス、私ハ
此ノ際此ノ需給關係カラ申シマシテモ、我
ガ國ノ用材ノ的確ナル供給ト需要ノ統計的
調査ヲセラレルト云フコトハ、最モ急務中
ノ急務デアラウト考ヘルノデアリマス、果
シテ左様ナコトガ農林省ニ於キマシテハ、
ソレト行ハレテ居リマスカドウカト云フ
コトニ付キマシテモ、私ハ不安ヲ感ジテ居
ル次第デアリマス、ソレハ兎モ角モト致シ
マシテ、最近約十年間ノ狀況ヲ見マスト、
大正十四年度ノ需要ハ、約四千九百萬石カ
ラ五千萬石近クデアッタノデハナイカト申
サレテ居ッタ時代モアルノデアリマス、之
ヲ大正十一年度ニ比較致シマスト、年々百

分ノ二以上ノ需要増加ヲ來シテ居ルヤウナ狀況デアリマスガ、殊ニ最近都市ノ膨脹、諸工業ノ興隆狀態ナドカラ致シマシテ、需要増加ノ傾向ガ一層顯著ニナツテ參ッテ居リマス、近イ所ノ既往三年間ニ於ケル需要増加ノ率ハ百分ノ十、一割以上ノ年増加ヲ要スルト云フヤウナ統計モ表レテ居リマスルガ、恐ラク私ハソレ以上ノ増加ヲ來シテ居ルモノト想像致シマス、尙更ニ將來ノコトヲ考ヘマスレバ、先刻モ御説明ニアリマシタ如ク「バルプ」需要ノ増加ノ爲ニ、其ノ資源タル所ノ木材ノ要求モ一層甚ダシキヲ加ヘルト云フコトハ、申ス迄モナイコトデアリマス、假ニ左様ナコトハ見込ミマセスト致シマシテモ、前ノ増加率カラ考ヘテ見マシテモ、所謂平時ノ増加率カラ考ヘテ見マシテモ、二十年後ノ需要額ハ一億九百萬石、五十年後ノ増加額ヲ豫想致シマス、一億二千三百萬石ノ多量ニ上ル計算トナルノデアリマス、是ハ平年度ノ需要増加ノ狀況デアリマス、然ルニ前ニ申述べマシタ如ク種々ナ事情デモアリマセウガ、兎ニ角此ノ資材ノ需要ノ増加ニ反比例致シマシテ、造木ノ狀況ハ如何カト申シマスルト、誠ニ其ノ不振ノ甚ダシイコトハ寒心ノ至リデアリマス、今其ノ無立木地ノ増加ノ

狀況ヲ見マスルト、用材林ガ薪炭林ニ變リ、更ニ過伐ノ爲ニ無立木地トナルト云フヤウナ狀況ガ、追々山村地等ニハ顯著ナ狀況ニナツテ參リマスル現象デアリマス、是ハ地方ニ於キマシテモ實ニ看過スベカラザル實情ト、私ハ申シテ差支ナイト思ヒマス、今後專ラ國產材ノ増産ニ依リマシテ、自給自足ノ方途ヲドウデモ我が國トシテハ斷行セネバナリマセヌ、固ヨリ之ニ對シマシテハ、先刻山本委員カラノ御質問中ニモアリマシタ如ク、内地ノミニテハ到底私ハ此ノ要求ニ應ジ難イト云フコトハ、想像ニ餘リガアルノデゴザイマスカラ、内外地ヲ通ジマシテ、又或ハ滿洲國ノ用材資源、進ンデ我が國ノ勢力範圍地ニ於キマスル所ノ需要供給ノ狀態モ、十分是ハ調査シナケレバナラスノデアリマスガ、先刻ノ大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、ソレ等ノコトハ今後ニ於ケル問題ト致シマシテ、研究調査ヲセシメテ參ラレルト云フヤウナ趣デゴザイマスカラ、其ノ點ハ更ニ他ノ機會ニ讓リマシテ、今回改正案ガ提出セラレマシタノハ、兎ニ角此ノ急ニ應ズルト云フコトハ固ヨリデアリマスルガ、將來ニ於ケル森林資源ノ培養増殖、木材ノ自給自足ト云フコトガ主ナル要點デアアルノデ、而シテ前申上ゲマシタル如ク、

此ノ事業ハ相當長年月ヲ要シマスルコトガ木材生産ノ過程トナツテ居リマスヤウナ、所謂特異性ノ産業デアリマス、ドウシテモ木材ノ増伐計畫ト、ソレヲ補ヒマスル造林計畫トハ不可分ノ關係デアリマシテ、此ノ際最モ緊急ヲ要スル國策デアラウト思ヒマス、故ニ或方面ニ於キマシテハ、造林國策會社デモ設ケナクテハ、此ノ事業ニ應ジ兼ネルノデヤナイカト云フヤウナ意見モ、山林雜誌トカ、其ノ他ノ會合トカデ唱導セラレツツアルノデゴザイマス、私ハ是非共只今大臣ノ御答辯ニモアリマシタガ、此ノ際帝國ノ全經濟領域ヲ一貫シタ所ノ、木材需給計畫ニ應ジマスル綜合的内外地、滿洲官民ノ有スル所ノ林ニ對シマシテ、一貫セル大造林計畫ヲ樹立セラレル要ガアルト思フノデアリマス、是ハ獨リ木材需給上必要デアリマスルノミナラズ、私ガ申シマセヌデモ御承知ノ如ク、國土保安カラ申シマシテモ、治水治山カラ申シマシテモ、殊ニ我が國ノ世界的ニ非常ニ惠マレテ居リマス所ノ發電、電源地ノ涵養ノ完璧ヲ期シマスル上カラ申シマシテモ、非常ナ私ハ必要ナコトト思フノデアリマス、現在ノ如キ有様デアリマシタナラバ、此ノ天與ノ地ニアリマス所ノ水力發電等ノ如キモ、私ハ決シテ樂觀

ヲ許サナイ狀況デアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ十四年度ノ豫算書ニ拜見致シマスル所ニ依リマスルト、政府ニ於カレマシテモ此ノ點ニ能ク御考慮ヲ有セラレテ居リマスノデアリマシテ、國費ヲ以テ此ノ造林ノ補助、保護助成ヲ爲サル、又今回此ノ提案ニ對シマシテノ豫算モ計上ニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ私ハ斯カル規模ノ方法ニ依リマシテ、果シテ先ニ申上ゲマシタ如キ國家的現時並ニ將來ニ於テ非常ニ緊急ヲ要シマスルヤウナ造林事業ガ、果シテ出來得ルカ否カト云フコトヲ憂慮スル者デアリマス、十四年度ノ豫算計上額ハ兎モ角ト致シマシテ、將來政府ニ於カレマシテハ、此ノ根本計畫ニ付テ如何様ナル御考ヲ有セラル、ノデアリマスカ、極メテ此ノ改正案ニ關聯致シマシタ重要ナル事項デアリマスル故ニ、此ノ際此ノ點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、尙之ニ併セマシテ、只今山本委員ノ方カラモ御質問ガアリマシテ、其ノ片鱗ヲ知ルヲ得マシタノデアリマスルガ、大體十四年度ニ於キマスル所ノ木材ノ需給關係ハ、ドウナツテ居リマスノデゴザイマセウカ、私ガ伺ヒタイト思ヒマスノハ、水源涵養國土保安ノ意味カラ申シマシテ、潤葉樹林ノ保護助成モ非常ニ必要ダト思フノデ

ゴザイマスガ故ニ、薪炭用材ヲ加ヘマシ
タ需給豫想ノ數量ハ如何デアリマセウカ、
此ノ點ニ付キマシテ御答辯ヲ御願ヒ致シタ
イト思ヒマスト共ニ、森林統計ガ甚ダ私ハ
不完全ダト思フノデアリマス、森林統計デ
ハアリマセヌ、木材ノ需給統計等ガ不完全
デハナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス、
將來木材需給關係ノ統計ハ、相當ナ經費ヲ
御投ジニナリマシテモ、極メテ確實ナルモ
ノヲ御作リニナリマセスケレバ、此ノ趨勢
デ參リマスト國土ノ保安カラ申シマシテモ、
需給關係カラ申シマシテモ、憂慮スベキ事
柄ガアルノデハナイカト思フ、是ハ本當ノ
豫想デアリマスケレドモ、考ヘラレヌ譯デ
モナカラウカト思フノデアリマス、此ノ統計
方面ニハ如何様ナコトヲ現在爲サレテ居ル
カ、其ノ點ニ付キマシテモ併セテ御伺ヒ致
シタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 只今絲原委
員カラノ御言葉ハ誠ニ御尤デアリマシテ、
政府ト致シマシテモ此ノ法案提出ノ根本趣
旨ニ鑑ミマシテモ、造林ノ徹底的獎勵ヲシ
ナケレバナラスノデアリマス、森林ノコト
ハ長期ニ亙ルコトデアリマシテ、今後數十
年ノ後ニ於テ國土ノ保安ヲ十分ニシ、併セ
テ木材ノ供給ヲ豊富ニ致シマスノニハ、只

今ヨリ是ガ資源ノ培養、國土ノ荒廢ノ防止
ニ努メナケレバナラスノデアリマス、其ノ
意味ニ於キマシテ消極的ニ濫伐ヲ抑制スル
ト共ニ、積極的ニ資源培養特ニ造林ノ獎勵、
潤葉樹林ノ改良ニ力ヲ注ガナケレバナラス
ノデアリマス、ソコデ造林ノ獎勵施設ト致
シマシテハ、此ノ度昨年ノ豫算ヲ大體倍額
ニ致シマシテ、六十五萬圓ヲ増加致シマシ
テ百三十萬圓ト致シタ譯デアリマス、勿論
是ハ只今絲原委員ノ仰セノ如ク、是デ尙十
分トハ致サナイノデアリマシテ、是ハ將來
ニ於ケル所ノ造林政策ノ一端トシテ茲ニ計
上致シマシタモノデアリマシテ、尙財政ノ許ス
限りニ於キマシテ、此ノ補助、助成ハ更ニ之
ヲ強化シテ行ク必要ガアラウト思ヒマス、
尙從來過去最近十年ノ間ニ著シク斫伐ノ均
衡ヲ失シマシタ事實ハ、是ハ一面ニ於キマ
シテハ、内地ノ材價ガ非常ニ下ツタコト云フコ
トニアラウト思ヒマスガ、御承知ノ通り昭
和三年以降、農村ノ不況ガ深刻ニナリマシ
タ結果、一時ハ昭和三年ヲ百ト致シマス、
其ノ半額以下ニ材價ガ下ツテシマッタ、殊ニ
「アメリカ」カラノ外材ノ輸入ガ、甚ダシイ時
ニハ、一千萬石餘ニ上ルト云フヤウナ状態
デアリ、又北洋材モ一時ハ一千萬石以上輸
入サレルシ、南洋カラ潤葉樹材ガ相當數量

入ルトカ、又「ロシア」カラモ紅松等ガ一時
ハ數百萬石入ルト云フヤウナ状態デアリマ
シテ、内地ハ全ク各種外材ノ「ダンピング」
マーケットト申シマスカ、濫賣市場トナッ
テシマッタ、斯様ナ次第デアリマスカラ、地
方ノ山林業者モ行ク先ヲ悲觀致シマシテ、
造林ヲ手控ヘタト云フコトガ、是ガ今日益々
造林ガ一時衰ヘタト云フコトデアラウト思
ヒマス、併シナガラ今ヤ情勢ハ全ク一變致
シマシテ、今後ニ於キマシテハ少クトモ内
地ガ各外材ノ濫賣市場ニナルト云フヤウナ
コトハ、是ハ國策上許サルベキコトデナク、
又サウ云フコトハ色々ノ法制デ防ガレテ居
ルノデアアルカラ、サウ云フ懸念ハ一掃サレ
ルコトト思フノデアリマス、而シテ一面ニ
於テハ木材需要ハ益々増進スルト云フヤウ
ナコトニナルカラ、林業家モ將來ニ對シテ
ハ昔ノヤウナ暗イ觀念ヲ持タズ、明ルイ觀
念ヲ持ツヤウニナリマシタノデ、其ノ點カ
ラモ造林ハ相當振興スルト思ヒマス、勿論
造林ノ振興ニハ三ツノ方面カラ考ヘナケレ
バナラス、第一ニハ法制ノ問題デ、是ハ此
ノ度森林法改正ニ依ツテ、ソレヲ企圖スル次
第デアリマス、第二ニハ經濟的助成施設デア
リマシテ、是ハ政府ノ助成、或ハ府縣ノ助
成、其ノ他只今仰セノ通り國策造林會社ト

云フヤウナコトモ、或ハ必要ガアルデヤナ
イカトモ思ヒマス、斯様ナ經濟上ノ施設モ
必要デゴザイマス、尙第三トシテ、見遁ス
コトノナラスコトハ、精神的ノ造林熱、造
林ト云フコトノ國策デアルト云フコトヲ、
少クトモ日本ノ有ラユル方面ノ人々ニ染ミ
込マセテ行クト云フコトデアリマシテ、此
ノ點ニ一層ノ力ヲ注ガナケレバナラス、即
チ青年團或ハ學校生徒、斯ウ云フ方ニ造林
ハ非常ニ必要ナモノデアアル、今日造林スル
コトハ將來ニ對スル所ノ富源ノ培養デアリ、
廣義國防ノ一端デアルト云フコトヲ徹底的
ニ染ミ込マセルト云フコトモ必要デアリマ
ス、斯様ナ法制ト經濟ト精神ト三方カラ相
俟チマシテ、茲ニ造林ノ徹底ヲ期シタイト
考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ農林
統計ガ只今不備デアルト、是ハ仰セノ通り
私共誠ニ遺憾ノ次第デアリマス、之ガ整備
ニハ一層努力ヲ續ケテ行キタイト思ヒマス、
唯、茲ニ大體民有林ニ付テ施業案ガ次第ニ
出來マスレバ、御承知ノ通り面積モ實測面
積デハッキリ致シマス、蓄積モ分ツテ參リマ
スノデ、此ノ森林法施行ニ伴フ一ツノ派生
的效果トシテ、統計モ完備スルト考ヘテ居
リマス、ソレカラ明年度、昭和十四年度ノ
需給デゴザイマスガ、勿論「バルブ」資材、

或ハ坑木資材ト云フヤウナモノハ相當殖エルト思ハレマス、然ラバ一般建築用材ハドウナル、是ガ御承知ノ通り今日ノ木材ノ需要ノ多キヲ占ムモノハ、建築其ノ他ノ一般材デアリマシテ、是ガ六萬石位デアリマス、此ノ見透シニ依ッテ需給ノ關係ガ決ルノデゴザイマスガ、是ハ成ル程此ノ特殊工業材ノ方ニ幾ラ使ハレマスカト云フコトハ、是ハ私共モハッキリ承知致サナイ、ソレトノ見合ヒデアリマスカラ、極メテ是ハムヅカシイ問題ニナリマスガ、一面一般建築等ハ相當抑制サレルヤウナ情勢ニナッテ居リマスノデ、ソレト相見合ヒマス、大體本年度六百萬石ト云フコトニ落著クノデハナイカ、サウ致シマス特殊ノ用材ノ増加ダケニナリマスカラ、サウ致シマスレバ其ノ増加ト云ヒマスモノハ、大體「パルプ」、坑木、枕木ト云フヤウナモノデアレバ、大體三百萬石位ノ所ニ止ルノデハナイカ、サウスレバ其ノ昭和十四年度ト致シマスレバ、需給ノ均衡ハ大體取ッテ行ケルノデハナイカ、斯ウ考ヘマス、勿論是ハ其ノ一般用材ノ見透シノ問題ニナリマシテ、此ノ點ガ私共トシテモハッキリシタコトハ申上ゲ兼ねルヤウナ情勢ニアリマスノデ、御諒承ヲ願ヒマス

○絲原武太郎君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、大體山林當局ノ意ノアル所ハ了承致シタノデアリマスガ、唯私ハ此ノ事ダケハ今一言申上ゲテ置キタイと思ヒマス、現在ノ無立木地ガ先刻申上ゲマシタヤウニ相當廣大ナ面積ニ相成ッテ居リマス、更ニ附加ヘマシテ今御計畫豫想中ニ豫定シ得ナイヤウナ需要モアルノデハナイカト云フ御答辯デアリマシタガ、私ハ誠ニ御同感ニ考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト假ニ現在ノ無立木地、之ヲ補ヒマス造林計畫ヲ御樹テニナリマシテモ、年々過伐ト申シマスカ、已ムヲ得ヌ需要ニ應ズル爲ニ、從來ヨリ非常ニ廣大ナ面積ヲ伐採シナケレバナラヌト云フコトニ相成リ、是ハ國有林ニ致シマシテモ、只今山本委員ニ對シマスル御答辯中ニモ、幾ラカ已ムヲ得ナケレバ斯カル手段モ致サナケレバナラヌノデハナイカト云フ風ナ御答辯ガアリマシタノデアリマスガ、兎ニ角非常ニ大面積ノ造林ヲ、暫クノ間ハ年々是ハ遂行シテ行カナケレバナラヌと思ハレル、到底現在ノヤウナ當局ノ御計畫デハ、私ハ是ハ追付カヌノデハナイカト思フ、此ノ際全然御計畫ヲ改訂ニナリマシテ、一ツ大キク申シマス、造林國策樹立ト云フ風ナ御考ニ迄御及シナリマセ

ヌト、私ハドウシテモ此ノ無立木地ガ現在以上、ズン／＼増加シテ行クト云フコトハ、是ハモウ豫想シ得ラレルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテドウカーツ、此ノ際重ネテ質問ヲ致シマセヌケレドモ、篤ト當局ニ於テハ御考慮ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、尙只今御答辯中ニ、コ、數年前迄ハ用材其ノ他ノ價格ガ非常ニ不振ニナツタ、其ノ爲ニ造林熱ガ減退致シタ、自然ニドウモ増伐ニ對シマスル植林ガ遅レテ居ッタト云フ風ナ御答辯ガゴザイマシタガ、是ハ誠ニ地方ニ於キマシテモ御答辯ノ通りデアリマス、仍テ私が希望致シテ申上ゲテ置キタイ思ヒマスコトハ、ドウシテモ此ノ林產物ノ價格ニ付キマシテモ、常ニ相當ニ山林局デハ御注意ニ相成リマシテ、是モ矢張り國家的ノ見地ニ於カレマシテ、相當ナ研究ヲ致サレマス必要ガ十分アルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマスノデゴザイマス、カルガ故ニ此ノ統計ガドウシテモ私ハ必要デアルト申上ゲマシタ次第デゴザイマシテ、ドウカ物價統制其ノ他ノ關係カラ致シマシテモ、今回統制委員會モ、此ノ農山漁村方面カラノ生産物ニ對シマシテモ大イニ關心ヲ持タレマシテ、林產物ノ價格ハ單リ山村ノ經濟ニ關係スルノミデアリマセヌ、非常ニ

重大ナ關係ヲ國民一般ニ及シマス共ニ、又此ノ生産量ニ付キマシテモ相當ナ影響ヲ齎スモノデアリマスノデ、此ノ點ハ特ニ御注意ヲ御願ヒ致シタイと思ヒマス

○小林嘉平治君 委員長……

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) チョット御待チ下サイ、先程山本委員カラ樺太長官ニ對シテ御質問ガアリマシテ、長官ノ御出席ガナイ爲ニ、御保留ヲ願ッテ置キマシタガ、只今長官ガ御出デニナッテ居リマスノデ、此ノ際御願ヒ出來マスレバ、御許ヲ致シマス

○絲原武太郎君 サウシマス、私一人述ベルヤウデ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、次ニ尙質問ガアリマスカラ、適當ノ時ニ御許ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 宜シウゴザイマス

○小林嘉平治君 ソレデヤドウゾ

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 山本君ニ此ノ際樺太長官ニ對スル質問ヲ御許シ致シマス

○山本米三君 先程内地及ビ北海道ニ於キマス木材ノ森林ノ實情ナリ、其ノ他御方針ニ付テ伺ッタノデゴザイマスガ、生憎樺太長官ガオイデニナラナカッタモノデゴザイマスカラ、保留ヲ致シタ譯デゴザイマス、私

ノ御伺ヒ致シタイと思ヒマスルノハ、木材「パルプ」ノ生産地ト致シマシテ、非常ニ重要ヲ持ッテ居リマスル所ノ此ノ樺太ニ於キマシテハ、國有林ノ面積ハ二百九十二萬町歩アリマシテ、十二年度ニハ約一千七百萬石伐採ガ出來テ居ルノデゴザイマスガ、内地ノソレト比較シマスレバ、マダ増伐ノ餘裕ガアルヤウニ思ハレルノデゴザイマスノデ、「パルプ」ノ自給自足ヲ圖ル爲、又一般木材ノ不足ヲ補フ上ニ於キマシテ、樺太廳ニ於キマスル此ノ森林ノ實情ト、之ニ對シマスル御方針ヲ御伺ヒ致シタイノデゴザイマス

○政府委員(樺居俊一君) 御尋ニアリマシ

タ樺太ニ於キマスル森林ノ現在ノ狀況、更ニ内地方面ノ木材ノ相當緊迫シテ居リマスル需給ノ大勢等ニ對シマシテ、樺太カラモウ少シ澤山木ヲ供給スルコトノ可能性ノコトニ付テ、簡單ニ御答ヲ申上ゲマス、申上ゲマス迄モナク、樺太ニ於キマスル森林ハ、樺太ノ經濟一般ニ非常ニ關係ヲ持ッテ居リマスル重要ナ資源デアリマシテ、島民ノ經濟、更ニ重要産業デアリマスル「パルプ」事業等、殆ド之ニ大半依存ヲ致シテ居ルト申上ゲテモ過言デハナイト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ樺太ト致シマシテハ、此ノ森林ノ

最モ有效適正ナ開發利用ト云フコトニ付キマシテハ、殆ド主力ヲ舉ゲテ施設ヲ致シ、又計畫モ致シ、實行モ致シテ居リマスル次第デゴザイマシテ、殊ニ時局關係等ニ鑑ミマシテ、少シデモ國家ノ役ニ立チマスルヤウニ、此ノ森林資源ヲ最モ效果的ニ利用致シタイト云フコトハ、我々モ非常ニ實ハ苦心ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、併シ現在樺太ノ森林ノ蓄積量ハ段々ト枯渴シテ參リマシテ、占領當時概ネ二十億石ト稱セラレテ居リマシタモノガ、現在ハ總テノ樹種ヲ合セマシテ、我々ノ方ノ調査數ハ八億三千百萬石ト云フ風ニ計算ヲ致シテ居リマス、其ノ蓄積量ノ中デ、特ニ施業案ノ中ニ採入レマシテ、現在標準伐採量ヲ定メ、伐採ヲ致シテ居リマスルモノハ、大體六億五千萬石デアリマス、其ノ他ノモノハ、地ノ利ノ關係上其ノ他ノ點カラ致シマシテ、現在伐採ニ付キマシテノ計畫ヲ立テテ居ナイ所デアリマシテ、是ハ昭和十四年度カラ十分調査ヲ致スト云フコトニ致シマシテ、豫算等モ計上致シテ居ルノデアリマス、六億五千萬石ノ中ニハ、要存置林ト不要存置林ト二ツ合セテ居リマスガ、是ハ其ノ二ツヲ合セマシテ標準年伐量ハ、昭和八年カラ十二年迄ノ五年間ニ互リマシテ、施業案ノ編成ヲ完

了致シタノデアリマスルガ、ソレニ基キマスル標準年伐量ハ、今ノ要存置林及ビ不要存置林ヲ合セマシテ、千百萬石ト相成ッテ居リマス、是ガ最モ合理的ナ理想的ナ標準年伐量ト相成ッテ居リマスルノデ、其ノ中デ不要存置林ハ昭和二十二年迄ニ實ハ全部伐採致シテシマフ譯デアリマス、是ハ二百五十萬石ノ年伐量ニナッテ居リマス、從ヒマシテ昭和二十三年カラハ八百五十萬石ノ標準年伐量ガ殘ルト云フコトニナリマス、然ルニ只今樺太デ伐ッテ居リマスモノハ、御示ニナリマシタヤウニ千七百萬石ヲ伐ッテ居リマスノデアリマシテ、實ハマア殆ド八割乃至ハ倍位ノ過伐ト相成ッテ居リマス、其ノ外ニ、樺太デ甚ダ好マシクナイ名物デアリマスル山火事ガ年々歳々、殆ド是ハ不可抗力ナ現象ト致シマシテ、頻發致シマシテ、昨年ノ如キモ百數十萬石ヲ潰滅致シマシタ譯デアリマス、昭和元年カラ昨年ノ十月頃迄ノ統計ニ依リマス、山火事ニ依リマシテ六十萬町歩ノ林野ヲ損壞致シ、約千四五萬石ノ蓄積量ヲ灰ニ致シテシマッタノデアリマス、其ノ外大正昭和ニ互リマシテノ二回ノ大蟲害デアリマスガ、之ニ依ッテ一億石ノ蓄積量ヲ同ジク蟲ノ餌ニ致シテシマヒマシタ、其ノ外尙ホ不法ノ盜伐誤伐等モ、非

常ナ監視ノ眼ヲ潜リマシテ、引續キ若干行ハレテ居ルヤウナ遺憾ナ狀態デアリマス、人爲、自然兩方面ヨリ致シマシテ、荒廢致シタヤウナ原因ガ尙伏在致シテ居リマス、一方非常ナ過伐ニナッテ居リ、一方左様ノ忌ハシイ不祥事ガ尙殘ッテ居リマスノデ、是ハ内地方面ト殆ド同ジデアリマスガ、努メテ伐採量ニ付キマシテハ最モ合理的ナ經濟的ノ方法ニ依リマシテノ限度ニ止メ、造林ヲ盛ニヤッテ居リマス、尙造林ハマダ「豫算ガ不徹底デアリマスルガ、國有林、公私有林ヲ通ジマシテ、本年度昭和十四年度ノ如キハ二萬六千町歩バカリ致スコトニ致シテ居リマス、尤モ此ノ中デハ天然更新ノ撫育ニ依リマスルモノガ約半分ト相成ッテ居リマス、從ヒマシテ造林ハ、更ニ努メテ之ヲ擴大致シタイト考ヘテ居リマス外ニ、林野ノ只今申シマシタヤウナ災害ノ豫防等ニ付キマシテモ、豫算ヲ大分澤山十四年度ニ戴クコトニ致シテ居リマスガ、徹底的ニ出來ル限リヤッテ行キタイ、斯様ニ致シマシテ積極、消極兩方面カラ林野ノ森林ノ造成、森林ノ長期ニ互ル涵養ヲ圖ッテ參リ、樺太ノ資源ト致シテ參リマスノミナラズ、日本全體ノ資源ト致シマシテモ、眞ノ價值ヲ確保致シタイト云フヤウニ存ジテ居リマス、只今

非常ニ過渡的ノ状態デアリマシテ、非常ニ苦心致シテ居リマス、内地方面ノ状況等ニ付キマシテハ十分了承致シテ居リマスケレドモ、已ムヲ得ザル事情御了承願ヒタイト思ヒマス

○山本米三君 只今樺太長官ヨリ、樺太ノ森林ニ於キマスル状態竝ニ増伐ノ餘地ガ、餘リニモ存シナイト云フコトヲ承リマシテ、了承致シマシタ

○絲原武太郎君 チョット只今ノ山本委員ノ御質問ニ關聯シマシテ、樺太長官ニ御尋ネ致シテモ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 宜シウゴザイマス

○絲原武太郎君 只今御答辯ニ相成リマシテ、大體拜承致シマシテゴザイマスガ、一體樺太ノ木材ノ蓄積量ト云フモノハ、昭和七年末ノ蓄積量ダト申サレマシタガ、是ハ確カ本多博士ダト思ヒマシタガ、雜誌ダカニアリマシタガ、樺太林業政策改革新論トカ云フヤウナ題デゴザイマシタ、其ノ時ノ蓄積量ト云フモノハ、六億七千九百八十八萬五千石ト云フヤウナ計數ガ出テ居ッタノデス、處ガ只今御答辯中ニ八億三千百萬石ト稱セラレテ居リマスノデゴザイマスガ、此ノ蓄積量ト云フモノハ、ドウシテ御

計算ニナツテ居ルノデゴザイマスカ、前ニハ樺太ガ我が國ニ領有ニナリマシタ當時ハ、或ハ十五億トカ云フヤウナコトモ仰セニナツテ居リマシタケレドモ、ドウシテ計算爲サルノデゴザイマスカ、甚ダ此ノ點ガ不正確ト申シテハ誠ニ申譯ナイノデアリマスガ、隨時拜見シマス度ニ異ルモノデスカラ、承ッテ置キタイノデアリマス

○政府委員(樺居俊一君) 誠ニ頂門ノ一針ノ感ヲ以テ承ツタノデアリマスルガ、實ハ森林ノ蓄積量ノ確信ノアル計數ニ付キマシテハ、我々モ若干ノ疑念ヲ抱イテ居リマス、併シ從來實ハ陸軍等ノ御協力ヲ得マシテ、航空撮影モ全島ニ互リマシテ致シマシタ、尙昭和八年カラ十二年ニ互ル五箇年間ニ森林蓄積量ノ調査ヲ致シ、併セテ施業計畫ヲ之ニ付テ樹テタノデアリマスルガ、大體ノ所ハ未利用林、特ニ交通ノ不便ナ場所ハ一部實ハ取除イテ居リマシテ、其ノ方面ノ調査ヲ昭和十四年度カラ致スコトニ致シテ、豫算ヲ頂戴スルコトニ相成ツテ居リマスガ、只今迄ノ所ハ蝦夷松、椴松是ハマア樺太ノ森林ノ大半ヲ占メテ居ルノデアリマスガ、是ガ六億五千四百萬石、斯様ニ推定ヲ致シテ居リマス、落葉松類ガ五千三百萬石、樺其ノ他ノ雜木類ガ一億二千二百萬石、合計

八億四千百萬石、施業計畫ノ中ニ取入レテ居リマスモノガ六億五千萬石ニチョット足リマセヌ、六億四千九百萬石ト相成ツテ居リマスガ、尙「ロシヤ」ノ國境ニ近イ方面デアリマスツカ、非常ニ交通ノ不便ナ場所ガアリマスルノデ、實際伐採致シマシテモ、「ロシヤ」方面ニ流送致サナケレバ利用出來ナイ方面ガアリマスルノデ、斯様ナ方面ハ準

施業試驗地、其ノ他ノ方法ニ依リマシテ一部伐採ヲ致シテ居リマスルガ、尙蓄積量等ニ付キマシテハ相當疑問ガアリマス、併シ更ニ只今施業案ノ檢定ヲ致シテ居リマスルノデ、之ニ基キマシテ未利用林ノ調査ト相俟チマシテ、適當ノ補正ヲスル時機ガ來ルノデヤナイカト思ッテ居リマス、只今ノ所ハ左様ニナツテ居リマス

○絲原武太郎君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ能ク御事情ヲ拜承シマシテゴザイマス、樺太材ヲ此ノ際利用致シマシテ、需要ノ急ニ應ジ得ルカ否カト云フコトガ、相當重要ナ問題デナイカト思ヒマス、從ツテ過伐デアルトカナイトカ、或ハ視察ニ參ラレマシタ方ガ、直チニドウモ眼界ニ觀ル所ガ無立木地ガ多イカラ、非常ニ過伐デヤナイカト云フコトヲ一般ニ申サレテ居リマスルケレドモ、併シ只今申上ゲマシタヤウナ急ナ用ニ

應ジ得ルカ否カト云フコトハ、此ノ蓄積量如何ト云フコトガ私ハ基本ニナルト思フノデアリマス、是カラ今後十分御調査ニ相成リマスルヤウニ、施業案ヲ御樹テニナリマスルヤウウ、ドウカ其ノ邊ヲ特ニ正確ナル數字ガ得ラレルヤウニ、御努力ニナルヤウニ希望致シマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 小林君、先程御質疑ノ御保留ヲ願ヒマシタガ、此ノ際御質疑ニナリマセヌカ

○小林嘉平治君 今度ノ森林法ノ改正ハ、誠ニ時宜ニ適シタ適當ナ改正デアリマシテ、大體私共贊成致シテ居ルノデアリマスルガ、處デ詳シク内容ヲ調べ見マスルト、先刻申上ゲマシタ通り非常ニ結構ナコトデアリ、寧ロ時機ハ遅レテ居ル位ニ考ヘルノデアリマスガ、併シ今日ノ場合ニ此ノ森林法、殊ニ森林組合ト云フモノヲ強調シテ、全國ニ普及サレルダケノ、元來人的準備ガ應ヘ得ルカドウカト云フコトヲ甚ダ疑問ニ思ッテ居リマス、サウ云フ點ニ付テドンナ風ニシテ陣容ヲ御整ヘニナル積デアルカ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 此ノ法律ニ依リマシテ、大體五百町歩以上ノ私有林ガ纏ツタ地ニ存在シテ居リマス所ニ、三千ノ森

林組合ヲ置キタイト思ヒマス、勿論此ノ森林組合ハ、直チニ本法施行後一年トカ二年トカト云フ短時日ニ、全國ニ之ヲ普及サセル譯ニハ參リマセヌノデ、私共ノ計畫ニ依リマシテモ、相當長期ニ互リマシテ、十年計畫ニ依リマシテ三千ノ森林組合ニ付テ技術員ヲ配置スルヤウニ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレデ人の配置ノ方カラ申上ゲマスト、毎年林業教育ヲ受ケテ居リマス所ノ技術者ガ、大學出身者ニ於テ大體六七百人、專門學校ノ卒業者ニ付テ大體五百人、ソレカラ甲種農林程度ハ二千六百人位宛毎年輩出致シマスノデ、是等ノ中カラ適任者ニシテ、而モ相當實務ノ經驗ノアル者ヲ配置シテ行キタイト考ヘテ居リマス、勿論其ノ他學校教育ヲ受ケナクテモ、先進林業國デアリマストカ、又先進林業地デアリマストカ云フ方面ニハ、森林管理者ガ居リマスノデ、是等モソレニ取入レマシテ、次第ニ實行シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小林嘉平治君 私共ノ見ル所ニ依リマスト、所謂戰爭ガ片附キマシテモ、滿洲方面ナリ又支那ノ方面ニ向ッテ、只今御示ノヤウナ教育ヲ受ケタ人ヲ澤山ニ要求シテ居ル、餘程サウ云フ點ニ向ッテ政府當局ニ於カレ

マシテモ御注意ヲ御拂ヒ下サラスト云フト、適材ヲ得ルコトニ大變困ルノデアリマス、殊ニ此ノ山林地帯ハ御承知ノ通り交通モ不便デアリマシテ、若イ者ガ留ッテ仕事ヲスルコトヲ、ドウモ望マナイヤウナ傾ガアリマス、現ニ私共農會ニ關係ヲ致シテ居ルモノデアリマスカラ、此ノ農業方面ノ適當ナ技術員ヲ得ルノニ苦ンデ居ル現狀カラ申シマシテ、サウ云フ點ニ向ッテ格段ノ御注意ヲ拂ハレムコトヲ切ニ望ンデ置キマス、次ニ御尋ネシタイコトハ、金融ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、衆議院ニ於キマシテモ希望條件ガ付テ居リマシテ、政府當局ニ於カレテモ、其ノ希望條件ノ意思ノアル所ヲ能ク御酌取ニナッテ、相當考慮ヲ拂ハレムコトニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、ソコデ金融問題ニ關係シテ私少シク御尋ネシタイコトハ、火災保險ト金融ノ問題デアリマス、過日頂戴致シマシク其ノ方面ノ統計表ヲ見マシテモ、勸業銀行ナリ、農行銀行ト云フモノハ其ノ方面ニ大イニ働キ掛ケネバナラス、而モ澤山ナ資金ヲ擁シテ、當業者自身モドツチカト云フト、資金ノ運用ニ困ッテ居ルト云フヤウナ狀態デアルニ拘ラズ、其ノ金融方面ニ於ケル所ノ金融ノ數字ト云フモノハ、極ク僅カナモノ

デアリマス、ソレハ一ツハ火災保險ト云フコトト關係ガアルノデヤナイカ知ラ、又現ニ火災保險ヲ附シテアルモノデナケレバ、今ノ金融ヲスルコトハ出來スト云フヤウナ建前ノ下ニ、金融ヲシテ居ル所モアルノデアリマシテ、ソレデ私御尋ネシタイノデアリマスガ、一面火災保險ノ方面ヲ見マシテモ、其ノ數字ハ誠ニ貧弱ナモノデ、政府當局ニ於カレマシテハ、今ノヤウナ關係ニ於テ、此ノ火災保險ト云フモノガ大イニ發達スル御見込ヲ御持チニナッテ居ルノデアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ一ツ御尋ネ致シタイノデアリマス

○政府委員(村上富士太郎君) 只今ノ火災保險法ハ、幼齡林ニ付テノミゴザイマスノデ、此ノ保險法制定ノ根本的理由ハ、幼齡林ハ一番火災ノ危險率ガ多ク、而モ火災ニ罹リマシタ時ニハ大體ニ於テ全損ヲ生ズル、ソコデ十年若シクハ十五年經チマシタ所ノ幼齡林ハ、間モナク相當ノ收益ヲ見ヨウト云フモノガ一朝火災ニ罹ッテシマヒマスト、全然損失ニナリマシテ、再造林ノ費用ノ捻出ニ困難スル、斯ウ云フ所カラ再造林ヲ保障スル意味ニ於テ、幼齡林ノ國營保險ヲ致シマシタケレドモ、幼齡林ノ國營保險ニ依リマシテハ、金融ノ目的ニハ尙十分デナイト思

ヒマス、現ニ現在ニ於キマシテモ幼齡林國營保險ニ掛ッテ居リマス所ノ森林ニシテ、金融ノ目的ニナッテ居ルモノハ、最近ノ調査ニ依リマシテモ僅カニ一割二分位ノモノデゴザイマシテ、現在ノ二十年生以下ノ幼齡林ノ國營保險ノモノニ付テハ、金融ノ發達ト云フコトハムツカシイト思ヒマス、金融ノ發達ニ資スル爲ニハ、ドウ致シマシテモ此ノ火災保險ヲ成熟林ニ對象ヲ置カナケレバナラス、即チ二十年以上ノ、伐期ニ近イ、或ハ伐期ニ達シタル所ノ森林ニ對シテ、火災保險ヲ附ケルト云フコトニナラナケレバ、金融ノ目的トシテ十分ノ效果ヲ發揮シ得ナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、是等ノ材料ニ付キマシテハ今銳意資料ノ蒐集中デゴザイマシテ、是等ノ資料ガ蒐集サレ、危險率ガ十分ニ確定致シマシタラバ、成ルベク近キ將來ニ於テ之ヲ擴張ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、現在ノハ幼齡林ノ火災保險デアリマシテ、是ハ我々ノ計畫ト致シマシテハ、年々五萬町步ヅツ殖エマシテ、最後ニ百萬町步ニナル、斯ウ云フ計畫ノ下ニ始メマシタ、昨年度ハ丁度二年度目ニ當ッテ居リマシテ、三月一パイニ十萬町步入ルト云フ豫想ノ下ニ出發致シテ居リマスガ、其處ニ差上ゲマシタ表ノヤウニ、昨年ノ十二月既ニ十

萬町歩ヲ突破シテ居ルヤウナ情勢デアリマシテ、今迄ノ所デハ順調ニ發達シテ居リマス

○小林嘉平治君 此處ニ御示シ下サツタ火災保險ハ、國營ノ分ダケデアリマシテ、既ニ保險會社デ今御示ニナリマシタヤウナ十年以上、十五年以上ノモノニ對シテモ、保險業ヲ營ンデ居ルノデアリマスガ、サウ云フ數字ハドノ位ニ上ツテ居リマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 數字ハ後刻取調ベテ差上ゲマス、今チヨットナイヤウデアリマス、唯私記憶ニ存シテ居ル所ニ依リマスレバ、確カ火災保險ヲ民間會社デ始メマシタノハ、大正ノ末頃カト思ヒマス、始業以來五六年ノ所ハ相當順調ニ發達致シマシタガ、昭和ノ中頃カラ停頓致シマシテ、殆ド金額其ノ他モ餘リ殖エナイヤウニ記憶シテ居リマス、尙後刻取調ベマシテ……

○小林嘉平治君 只今局長ノ御話ニナリマシタヤウナ意味ノ、金融ニ對スル火災保險ト云フモノハ、私ノ體驗ト言ウテハ甚ダ鳥潛ガマシイノデアリマスガ、私共多年農工銀行ニ關係ヲシテ居ツタ關係カラ申上ゲルノデアリマスガ、殆ド必要ハナイ、斯ウ云フコトヲ固ク信ジテ居リマス、今尙サウ云フ考ヲ持ツテ居リマスルガ、政府當局ハドン

ナ風ニ御考デアリマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) ソレハ斯ウ云フ御考カラダラウト思ヒマス、成熟林ハ燒ケナイ、燒ケテモ損害ハ殆ドナイノデアリマス、其ノ意味ニ於テ火災保險ヲ附ケル必要ハナイノダ、斯ウ云フ御意見ダト考ヘテ居リマス、是ハ所ニ依リマシテハ其ノ通リダラウト思ヒマス、併シナガラ全般的ニ見マスレバ、矢張り金融業者ト致シマシテハ、若シ燒ケタ時ニハ、ソレガ普通ノ火事デアリマシテ、地表ヲ掘ツテ燒ケル地表火デアレバ、成熟林ニハ殆ド損害ガアリマセヌ、幹ヲチヨット燒ク位デアリマス、但シソレガ樹梢火ト申シマスカ、樹幹火ト申シマスカ

樹幹ノ方ニ火ガ及ンデ、高度ノ燃燒力ヲ發スルヤウニナリマス、是ハ非常ナ損害ヲ生ズルコトニナリマス、サウスルト是ハ成熟林ニ於テモ、燒損木ハ相當ノ價值ヲ賣レハ致シマスケレドモ、相當ナル損害ヲ生ズル、其ノ意味ニ於テ矢張り成熟林ニ對シテモ保險ガナケレバ、矢張りソコニ相當ノ危險性ガアツテ、金融業者トシテハ保險ヲ附ケタ方ニ越シタコトハナイ、斯様ナコトカラ矢張り勸業銀行等ニ於キマシテハ、成熟林ニ對シテモ保險ノ發達ヲ希望シテ居ルヤウナ事情デゴザイマス

○小林嘉平治君 山林局ニ於カレマシテモ、現在ノ事情ヲ能ク御調ニナリマシテ、今ノ結論ヲ得ラレタモノト思ヒマスガ、金融業方面デハ、大體ニ於テ火災保險ノナイモノニハ貸スコトガ出來ヌ、斯ウ云フ頭ガアリマスノデ、之ヲ取除クト云フコトガ、此ノ金融ノ上ニハ極ク必要ナノデアリマスカラ、今御示ニナツタヤウニ、私共ノ體驗ニ依リマスト、假令火災ニ遭ツテモ其ノ擔保物ノ資格ガソシナニ損傷サレルコトハナイノデアリマシテ、實害ヲ蒙ツタコトハナイノデアリマス、今ノ御話ノ中ニアツタヤウナ極端ナ場合モアリマセウガ、ソレハ稀ナ場合デアリマシテ、而モ其ノ稀ナ場合ガ基礎ニナツテサウシテ是非火災保險ヲ附セネバナラス、火災保險ヲ附セネバ金融スルコトガ出來ヌ、斯ウ云フ頭ヲ今金融業者ハ持ツテ居ルノデアリマシテ、而モ其ノ火災保險ハ相當ノ保險料ガ要ルノデアリマス、此ノ間モ衆議院デモ、又貴族院ニ於テモ、御質問ナスツタ場合ニモ、特ニ低利ノ資金ヲ融通スル、斯ウ云フコトデアアル、銀行ハ低利デ貸付ケマシテモ、火災保險料ヲ拂フト非常ニ高利ナモノニナルノデアリマシテ、斯ウ云フコトガ山林ニ金融ガ行ハレヌ實情ニナル、斯ウ云フコトヲ考ヘマスト、稀ニアル實例ノ爲ニ、

此ノ大キナ金融ト云フコトニ惡イ影響ヲ及スノデアリマスカラシテ、今ノ山林局ハ色々御調査モ下サレ、現ニ私共、三重縣ニモ御出ニナツテ、御案内シタヤウナコトモアリマスガ、モウ少シ掘下ゲテ能ク御調ニナツテ、其ノ非常ナ場合ノ危險ト云フコトモ一應御考ニナツテ、火災保險ガ伴ハネバ金融ガ出來ナイ、斯ウ云フ頭ハ一ツ取去ツテ戴クコトニ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 誠ニ御尤ナ御意見トハ思ヒマス、是ハ建物ノ保險トカ云フモノトハ大變違ヒマシテ、建物ノ保險デアレバ、火災ニ罹レバ全損或ハ非常ナ損害ヲ來シマスガ、成熟林ニ付キマシテハ、只今小林委員ノ仰セノ通り、普通ノ場合ニ於テハ殆ド損害ハナイノデアリマス、假令燒ケテ枯損、枯レマシテモ矢張り相當ノ値打ガアルノデスカラ、普通ノ場合ハ殆ド損害ハナイノデアリマスカラ、火災保險ガナケレバ金融出來ナイト云フ金融業者ノ頭ハ、或意味ニ於テ是ハ相當考ヘ直ス必要ガアルト云フ御説ニ付テハ、私モ同感デゴザイマス、唯併シナガラ全然如何ナル場合ニ於テモ要ナイノダカラ、成熟林ニ對スル所ノ保險ハ考慮スル餘地ガナイトハ言ヒ兼ネマスノデ、其ノ意味ニ於テ成熟林ニ迄擴張致

シタイ、勿論成熟林ニ擴張致シマス時ニハ、料率ハ幼齡林ノ保險料率ヨリ低イ所ニ引下ガナケレバナラヌ、ソレデナケレバ結局金融ノ目的ニハ寄與スル點ガ少イダラウ、即チ假令貸付ノ利率ハ少クテモ保險料率ガ高クナルト、結局ソレデ利率ガ高クナルヤウナ次第デアリマスカラ、サウ云フコトモ考慮致シマシテ、低イ率ニ致サナケレバナラヌト考ヘマス、十分是等ノ點ニ付テハ、只今ノ御意見ヲ拜承致シマシテ更ニ考慮ヲ重ネタイト思ヒマス

○小林嘉平治君 大體私共ノ考ト同ジデアルト云フ御意見ノヤウニ承リマシタガ、私ハ極端ナコトヲ申スヤウデアリマスガ、マア幼齡林ハ兎ニ角ト致シマシテ、其ノ以上ニ國家トシテハ此ノ方面ニ付テ御考ヘ下サラナイデモ宜イノデヤナイカ、此ノ位ノキツイ意見ヲ持ッテ居リマス、殊ニ「アメリカ」アタリノ話ヲ聞キマス、隨分火災保險ニ伴フ弊害ガ多イノデアリマスガ、總テノ場合ニ於テ此ノ山林ナンカハ殊ニドウモ間違ガアリマスノデ、火災保險ガアル爲ニ却テ火災ガ起ルト云フヤウナコトモ隨分アッタト云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、ソナコトヲ考ヘマス、政府ニ於テモ是以上火災保險ニ付テ、幼齡林ニ付テモット料金ヲ

安クシテ貰ウト云フ、サウ云フコトヲ考ヘテ貰フコトハ結構デスガ、成熟林ニ付テサウ云フコトヲ御考ニナルナラバ、モット外ノ方ニ御考ヲ御持チ下サツタ方ガ宜イデハナイカ、斯ウ云フコトモ考ヘマス、ソレカラ序ナガラ、何カ私ガ體驗ヲ語ルト云フノモ如何デアリマスガ、私ハ固ク信ジテ居ル、自分ノ銀行ハ勸業銀行ヘ合併致シマシテ、今日自分ノ銀行ノ宣傳デモナイノデアリマスガ、此ノ表ヲ御覽ナスッテモ分リマスヤウニ、農工銀行ニ於キマシテ、實ハ今ノ御心配ニナルヤウナ點カラ、此ノ山林貸出ヲシテ居ル銀行ト云フモノハ、今日迄餘リナカタノデアリマス、先ヅ奈良ノ方ト私ノ方ト申上ゲテ宜イ、奈良ハア、云フ土地柄トテ早ク發達シテ居ッテ、私共モ奈良ノ農工銀行ノ御手本ニ習ウテ始メタヤウト譯デアリマシタガ、此處ニ現ニ御關係ニ、ニテ居ル方モ居ラシヤルノデアリマスガ、ソコデ私ノ方ノ銀行ト致シマシテハ、斯ウ云フコトヲ言フ、火災保險ハ要ラス、唯保證人ガ必要デアル、保證人ハドウ云フ役目ヲスルカト云フト、火災保險ノ役目モスル、其ノ村ニ於ケル保證人デスカラ、又監視ノ役目モスル、盜ミ取リトカ云フヤウナコトモ保證人ハ守ッテ呉レル、最後ニ處分センナラヌ時ニハ、

其ノ處分ノ役目モスル、此ノ保證人ノ制度ヲ固ク守ッテ來タト云フコトガ、私等ノ方ノ金融ノ發達シタ因デアリマス、尤モ我々ノ仲間ニ山林ニ理解ノアル重役ガアッタト云フコトモ亦一ツデアリマスガ、是ガ因デアリマス、ソレデ私ハ農工銀行ヲヤッテ居ル時分ニモ、他ノ銀行ニモ山林金融ヲ獎メマシタガ、ドウモ君ノ銀行ノヤウナ風ニ保證人ノ制度ヲ確立シ、又更ニ置クト云フコトガドウモ出來ニクイト云フコトデ、結局餘リ行届カナカッタト云フコトガアルノデアリマシテ、右ノヤウナ譯デ私共ハ火災保險ノ全ク必要ナシト云フコトヲ、自分ノ體驗上固ク信ジテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ間農林大臣ハ、貴族院デモ此ノ金融方面ガ、森林組合ト云フモノガ出來タナラバ、大變便宜ガアルデアラウト云フ御話デアリマシタガ、一ツ其ノ目的ヲ達スルヤウナ意味モ加味シテ、此ノ森林組合ノ實行指導ニ當ッテ貴ヒタイト云フコトヲ、特ニ申上ゲテ置キマス

○政府委員(村上富士太郎君) 只今仰セノ通りデアリマシテ、私共モ森林組合ニ出資制度ヲ認メマシタト云フノハ、只今仰セノヤウナコトヲ發達サセタイト云フ意味デアリマス、從來金融業者ガ森林ニ對シテ金融ヲ躊躇シタ一ツハ、監督ガ十分ニ行カナイ、自分ハ都會地ニ居リマスシ、森林ハドウセ山ノ中ニアル、其ノ森林經營ガドウナッテ居ルカト云フコトヲ、日常監視スル譯ニ行キマセヌノデ、折角取ツ所ノ抵當森林モ、施業ガ惡イ爲ニ段々其ノ抵當價值ヲ毀損スルト云フヤウナコトモアラウト思ヒマス、ソレドウモ監督ガ出來ナイ、又愈々抵當流レニナッテ自分ガ取込シダ場合ニ於テ、自分ガ之ヲ管理スルコトハナカ／＼出來ナイ、左様ナコトノ爲ニ、之ニ對スル所ノ金融ガ十分ニ行ハレテ居ラナカッタラウト思ヒマス、處ガ此ノ度森林組合ガ出資ヲ致シマスル場合ニ於テハ、組合員ニ貸付ガ出來ル、從ッテ又森林組合ハ組合員ニ代ッテ森林ノ管理モ致スコトニナリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ、例ヘバ農工銀行等ガ森林組合ヲ通ジテ貸付ヲ致ス場合ニ於テハ、森林組合ト致シマシテハ十分ニ其ノ組合員ノ施業ニ對シマシテハ監督ノ責務ガアル譯デアリ、此ノ度ハ森林組合ガ施業案ヲ作りマシテ、其ノ施業案ニ依ッテ組合員ガ之ヲ實行スルコトヲ指導シテ參リマスノデアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テ十分ニ或意味ニ於テ銀行ニ對スル所ノ保證ノ責任ヲ取り得ルト思フ、又銀行ガ愈々之ヲ實行シテ、自分ガ其

ノ山ヲ取ツテ、即チ組合員ニナツタ場合ニ於テハ、森林組合ニ委託シテ經營サセルコトモ出來マスノデ、サウ云フコトカラ致シマシテ、特ニ斯ウ云フ制度ヲ設ケマシタノデアリマスカラ、森林組合ヲ愈、活躍サセル場合ニ於テハ、其ノ線ニ沿ウテ十分ニ發達ラ期シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 十二時ニモ始ドナリマシタカラ、午前ノ會議ハ是デ一應閉ヂマシテ、午後一時半カラ續行致シタイと思ヒマス、如何デアリマセウ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 然ラバ左様委員長ハ取計ラヒマス

午後零時五分休憩

午後一時三十五分開會

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ、質問ヲ續行致シマス

○子爵梅園篤彦君 既ニ衆議院ノ本法案ノ特別委員會ニ於テ問題トナツタコトデゴザイマスガ、此ノ際御伺シテ置キタイと思ヒマス、御取付ヲ戴キマシタ書類ヲ見マス、森林擔保金融狀況ヲ認メデアリマス中ニ、其ノ貸付金額ハ七千百二十三萬六千五百四圓、其ノ件數ハ十九萬五千六百四十一件、

其ノ擔保森林面積ハ四十萬八千二百二十七町步ニ上ツテ居リマス、ノミナラズ沖繩縣ヲ除ク外、全國道府縣ニ跨ツテ居リマス、仍テ此ノ數字ダケヲ見マシテモ、森林金融ノ重要性ヲ知ルコトガ出來ル譯デアリマス、次ニ本法案ヲ成立致シマシタ結果、所謂施業案ノ施行ヲ強制スルト云フヤウナコトニナリマス、益、森林金融ノ問題ガ重大トナルノデヤナイカと思フノデアリマス、元來一般的ニハ施業案ガ

立テラレナカッタノデアリマス、從ツテ造林植裁ガ十分ニ出來ナカッタノハ、勿論林業ガ採算ニ合ハナカッタコト、即チ算盤勘定ニ合ハナカッタコトモ其ノ原因ノ一ツデアリマスガ、寧ロ一般的ニ見マシテ、其ノ財力ガ之ニ伴ハナカッタコトガ、主要ナル原因デアルト思フノデアリマス、此ノヤウニ考ヘマスルト森林金融ノ問題ハ本法案成立ノ曉、重要ナル役割ヲ擔當スルモノデアラウカト思フノデアリマス、唯施業案ニ依ル施業調整ヲ圖ル爲ニハ、特ニ強力ナル森林金融、即チ特殊金融制度ノ確立ヲ要スルコトトナル譯デアリマス、若シ然ラザレバ本法案改正ノ目的ヲ貫徹スルコトガ出來ナイト言ツテモ宜イト思フノデアリマス、仍テ政府ニ於カレマシテハ、此ノヤウナ強力ナル特殊金融制度ヲバ設置セラル、所ノ御意思

ガアルカドウカ、御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 御尤モナ御質問ト思ヒマス、現在ノ森林金融ハ相當ナ

額ニハ上ツテ居リマスケレドモ、尙色々ナ點ニ於キマシテ十分デナイ所ガゴザイマス、森林抵當貸付ニ付キマシテモ、擔保物ノ價格ヲ相當安ク見ルト云フ傾ニナツテ居リマス、是ハ從來森林ハ換價處分ガナカ、困難デアリマス、又抵當流レニナリマシタ時ニ、金融業者ガ之ヲ管理スルコトガナカナカ厄介デアルト云フコト、ソレカラ土地ナドト違ヒマシテ、森林ノ立木ハ施業管理方法ガ惡イト永年ノ中ニ非常ニ惡化シテシマフ、斯ウ云フコトニ對スル監督ガナカ、ムツカシイト云フヤウナコトデ、立木抵當金融ト云フコトニ付キマシテモ萬全ヲ期シテ、割合ニ低クツケルト云フコトニナツテ居リマシテ、是等ノ點ヲ先ヅ第一ニ改正シナケレバナラスト思ヒマス、是等ノコトハ今度森林法ガ改正サレマスト相當改善サレルト考ヘテ居リマス、併シナガラ元來林業其ノモノハ左様ニ高利率ニ廻ルモノデハアリマセス、林業ノ利廻ガドノ位ニナリマスカハ極メテムツカシイ問題デアリマシテ、達觀のニ申上ゲル譯ニモ行キマセヌガ、大

體ニ於テ六分位ニ見ルノガ普通ノ見方デアリマシテ、ソレハ實地ニ見テモ、或ハ從來ノ調査デモ一割近クニ廻ツテ居リマスヤウナ例モアリマスガ、先ヅ普通ハ六分位ニ見ナケレバナラスト、斯様ナモノデアリマスカラ、幼齡造林地等ヲ抵當ニ取ル場合ニ於テハ、現在ノ場合ニ於テハ殆ド是ガ金融ノ目的ニナラナイ、サウシマスルト林業ニ投資シタ所ノモノハ、此ノ投資物ガ金融ノ價値ヲ生ズルノハ、ソレハ伐期ノ近ツイタ時、即チ少クトモ巡年間伐ガ續イテカラ後、十五年、二十年、或ハ三十年、四十年ト云フヤウナ後デナケレバ、本當ニ金融ノ客體ニナラナイノデアツテ、幼齡造林地ノ間ハ殆ド金融ノ客體ニナラスト云フヤウナ今ハ情勢ニナツテ居リマス、是等ヲ改善ヲ致シマスニハ、ドウシテモ低利デアリ、而モ相當長ク固定スルヤウナ金融制度ヲ考ヘナケレバナラナイノデアリマシテ、是等ニ付キマシテハ從來モ金融ヲ等閑ニ付シテ居ツタ譯デアリマセヌガ、此ノ度森林法ガ改正サレマススト共ニ、一方造林ノ普及徹底ヲ期スルト云フヤウナ情勢ニナリマシテハ、茲ニ森林金融ニ付キマシテ更ニ特殊ノ考慮ヲ拂フ必要ガアラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ私共ト致シマシテモ目下鋭意考究中デゴザ

イマシテ、出來得ル限り近キ將來ニ於テ、
何カ茲ニ低利而モ固定スル所ノ金融ノコト
ニ付テ、特殊ノ制度ヲ設ケル必要ガアリハ
シナイカ、ソレヲドウ云フ形デ現スカト云
フコトニ付キマシテハ、尙茲ニハツキ申上
グル迄ノ事態ニ達シテ居リマセスガ、サウ
云フコトヲ是カラ研究シテ、成ルベク之ガ
實現ヲ近イ將來ニ期シタイ、斯ウ考ヘテ居
ル次第デアリマス、尙是ハチヨット離レマス
ガ、午前中ニ小林サンノ御質問ニ對シマシ
テ、答辯ヲ留保シテ置キマシタ現在民間ノ
保險契約高デゴザイマスガ、昭和十一年末
ノ現在デゴザイマシテ、總件數ガ九百八十
九、面積ガ四萬九千三百七十七町步、金
額ガ二千二百八十二圓ニナツテ居リマス、
尙此ノ際私ノ申シ方ガ少シ足りマセスガ爲
ニ、成熟林ニハ保險ノ必要ガナイト云フヤ
ウニ響イタヤウナコトモアリマスガ、決シ
テサウデハナイノデアリマシテ、殊ニ三十
年、四十年ト云フヤウナ伸び盛リノ森林ニ
付テハ、ドウシテモ保險ノ必要ガアラウト
思ヒマス、唯其ノ料率等ハ幼齡林カラ見レ
バ遙カニ下シテ宜イト思ヒマス、唯五十年
以上ニナツタ森林ニ付テハ、是ハ殆ド被害ヲ
受ケル虞ガナイノデアリマスカラ、左様ナ
モノニ付テハ保險ニカ、ル必要ハ是ハナカ

ラウト思フノデアリマス、ソレダケ附ケ加
ヘテ申上ゲテ置キマス

○小林嘉平治君 午前中ノ私ノ質問ニ對シ
テ、山林局長ノ御答辯ニ依リマシテ、又先
程ノ質問應答ニ依リマシテ、金融ト火災保
險ト云フ關係ガハツキ致シマシタ、又ソレ
ト同時ニ此ノ森林組合ト云フモノガ、金融
ノ上ニドシナ働キ掛ケヲ爲スノデアルカ、
又政府ガドウ云フコトヲ其ノ方面ニ期待シ
テ居ルカト云フコトモハツキ致シマシ
タ、是非其ノ理想ノ實現スルヤウニ切ニ御
願ヲ致シテ置キマス、ソコデ私ノ發言ノ中
ニモ、火災保險絕對不必要ナリト御取り下
サレタ方モアルヤウデアリマスカラ、特ニ
私此ノ際自分ノ考ヲハツキ申上ゲテ置キマ
スガ、今日森林金融ガ圓滑ニ行カスト云
フコトハ、火災保險ガ餘リ金融ヲシテハイ
ケテイ、斯ウ云フ頭ガ大體必ミ込ンデ居リ
マスノデ、ソレヲ取去ッテ貰フ必要ガアル
ト云フノデ、午前中ニアノ發言ヲ爲シタノ
デアリマス、火災保險ト云フモノガ、本當
ノ火災保險ノ意味ニ於ケル火災保險、別ニ
金融ト云フコトニハ關係ナシニ考ヘラレタ
火災保險、是ハ極ク必要ナコトデアリマシ
テ、殊ニ幼齡林ニ付キマシテ、政府ノ御取
リ下サル御方針、又之ヲ十五年ト云フモノ

ヲモウ少シ或ハ二十年ニモ及ストカ、三十
年ニ及スト云フ方針モ結構デアリマスガ、
私午前中ニ御願ヒシテ置イタヤウニ、其ノ
保險料ニ付キマシテモ、モソット此ノ森林業
ガ、ドノ程度ノ金利ニ廻ルカト云フコトモ
御考ヘ下サツテ、ヨリ低下ラシテ貰ハネバ
ナラヌト云フ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リマ
スノデ、政府ニ於ケレマシテモ矢張り先刻
ノ御答辯ニ依リマシテ、私ノ期待シテ居ル
ヤウナ方針ノ下ニ進マウト云フコトデアリ
マスカラ、大變私モ満足致シタ次第デアリ
マス、勿論只今ノ言葉ノ中ニ、火災保險ノ
意味ニ於ケル火災保險ト云フコトヲ申シマ
シタケレドモ、其ノ副産物トシテ自然ソレ
ガ金融ノ便ニナルト云フコトモ、是亦結構
ナコトデアリマス、其ノコトヲモチヨット附
加ヘテ置キマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ山林局長ノ御答
辯ニ依リマシテ、森林金融ニ對シテ相當御
理解ガアリ、且森林金融ニ特殊ノ制度ヲモ
考ヘテ居ルト云フコトヲ伺ヒマシテ、私意
ヲ強ウスル次第デアリマス、併シナガラ本
法案ガ實施セラレルコトニナリマシテハ、
其ノ際ニハ森林金融ノ問題ハ、密接不離ノ
重要ナ立場ニアル譯デアリマシテ、左様ナ
重要ナ問題ニ對シテ是カラ考究スルト云フ

ヤウナ御言葉デハ、聊カ手緩イカト云フヤ
ウニ感ズルノデアリマス、就キマシテハ出
來ルダケ速カニ、可及的ニ御實施ヲ願ツテ、
本法案ノ所期ノ目的ヲ貫徹セラレルヤウ
ニ希望致ス次第デアリマス、尙チヨット御伺
ヒ致シタイノデアリマスガ、最近ハ木材ノ
價格ガドン／＼ト騰貴シテ參リマシタノ
デ、其ノ趣キヲバ聊カ異ニスルヤウニ考ヘ
マスケレドモ、以前林業界ガ非常ニ不振デ
アリマシタ際ニハ、森林金融機關ノ不備ノ
爲ニ、其ノ相續ガ開始セラレマシタ場合
ニ、非常ナ困難ニ遭遇シタト云フヤウナコ
トヲバヨク聞クノデアリマス、即チ其ノ相
續決定ノ際ニ、山林評價ガ其ノ納入時期ニ
至リマシテ、甚ダシク下落スルト云フヤウ
ナコトガ随分アリマシタヤウデアリマス、
斯カル場合ニ其ノ立木ヲバ、全部賣拂ッテ
モ、尙相續稅ヲバ納入スルコトガ出來ナイ
ト云フヤウナ例モ、必ズシモ少クナイト云
フヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、仍デ此
ノヤウナ不都合ヲ生ジナイヤウニ致シマス
ルニハ、森林金融機關ノ完備ト相俟チマシ
テ、森林關係中ノ惡稅、例ヘバ地方稅反別
割、特別稅反別割ト云ッタヤウナモノヲ整
理致シマシテ、一般稅制整理ト共ニ森林
關係ノ稅制ノ整理ヲ致スコトハ、最モ急務

ト致ス所デアルト信ズルノデアリマス、處
デ此ノヤウナ場合ニ處スル一策ト致シマシ
テ、相續税ノ物納ヲ許スト云フコトニ致シ
マシタナラバ、斯カル場合ニ至リマシテモ、
相續税ノ納入不能ト云フガ如キ不祥ナコト
ハ起ラナイト思フノデアリマスガ、山林相
續税ノ物納ニ付テ、政府ハドウ云フ風ニ御
考ニナッテ居リマスカ、サウ云フコトハ許セ
ナイト云フヤウナ御考デアリマスカ、此ノ
點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 是ハ農林省
側カラ御答辯申上ゲルノハドウカト思ヒマ
スガ、大藏省等ノ意向ニ依リマシテハ、物
納制度ト云フモノハ餘程是ハ慎重ニ考慮シ
ナケレバナラス問題デハナイカ、當ニ森林
ノミナラズ、都會ノ土地、其ノ他ニモ關係
スルコトデアリマスカラ、税制整理ノ時十
分考慮ハ致シマスルガ、サウナカ、直チ
ニ實行ガ出來ルカドウカト云フコトハ、餘
程マダ疑問デアアル、斯ウ云フヤウナ御意向
ノヤウニ拜承シテ居リマス、實際此ノ相續
税ガ、殊ニ森林ノ値段ガ下ル時分ニ於テ、相
續税ガ其ノ林業界ニ對シテ非常ナ苦痛ヲ與
ヘテ居ルノハ、私共モ誠ニ御同情ニ堪ヘナ
イ次第デアリマシテ、相續税ヲ拂フガ爲ニ
木ヲ伐ル、サウスルト其ノ木ヲ伐ツコトニ

依ッテ更ニ木ノ値段ガ暴落スル、而モ一方ニ
於テハ是ハ森林所得ダトシテ税ヲ課セラレ、
相續税ヲ課セラレテ、片ッ方ニ所得税ヲ課セ
ラレテ、而モ其ノ値段ハ大變伐ツガ爲ニ一般
的ニ下ッテシマフ、斯ウ云フヤウナコトデ、
隨分此ノ林業不況時代ニハ林業家ノ御苦痛
ト云フモノハ非常ニヒドカッタノデアリマ
シテ、是ハ何トカ斯ウ云フ所ニ付テハ改正
ヲスル必要ガアルト私ハ考ヘテ居リマスガ、
唯物納ヲ認メルカドウカト云フコトニナリ
マス、是ハ一般税制全體ノ重大問題ニナ
リマスモノデスカラ、慎重ニ考慮ヲ要スル
次第ダト考ヘテ居リマス、ソレカラ地方税
ノ問題ニ付キマシテハ、段別割ニ付キマシ
テハ、是ハ内務省ニ於キマシテモ、大藏省
ニ於キマシテモ、適當ナル税トハ考ヘテ居
リマセヌノデ、既ニ昭和六年ニ段別割ニ付
テハ將來之ヲ必要ナ特別ノ事情ノナイ限り
廢止スルヨウニト云フ意味ノ通牒ガ出テ居
リマス、之ニ依リマシテ、内地ニ於キマシ
テハ其ノ前三百四五十アリマシタモノガ、
百五十位ハ整理セラレタヤウナ結果ニナッ
テ居リマス、併シナガラ山村ニ於キマシテ
ハ財政ガ非常ニ貧弱デアリマシテ、財源ニ
涸渴シテ居リマスガ爲ニ、尙徹底の廢止
ノ機運ニ至ラナイノハ誠ニ遺憾ト考ヘテ居

ル次第デアリマス、將來税制整理ニ伴ヒマ
シテ、是等ノ問題ハ尙考慮シナケレバナラ
スト思ッテ居リマス、ソレカラ立木伐採税等
ニ付キマシテモ、府縣ノ立木伐採税ニ付テ
ハ税制整理ト共ニ廢止スル意向デアリマス
○子爵梅園瀧彦君 只今ノ政府委員ノ御答
辯ニ依リマシテ、一般税制整理ト共ニ森林
關係ノ税制ヲ整理スル場合ニハ、此ノ問題
ニ付テ相當考慮スルト云フヤウナ御説明ヲ
伺ヒマシテ満足ヲ致ス次第デアリマスガ、
物納ト云フコトハ容易デナイ、非常ニ困難
ダト云フコトヲ今伺ヒマシテ、ソレハ成程
サウデアラウカトハ思ヒマスルガ、私ノ希
望ト致シマシテハ、特例ヲ設ケテ、サウシ
テサウ云フ場合ニノミ物納ヲ許スト云フヤ
ウナ方法デモ、税制整理ヲオヤリニナリマ
ス場合ニ願ヘルト云フ風ニ御考慮ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、其ノ點ノ希望ヲ申述べテ置
キマス

如キハ非常ナ關係ヲ有スルコトニ相成ル、
就キマシテハ此ノ點ニ對シマシテ只今山林
局長カラ御答辯ガアリマシタノデゴザイマ
スルケレドモ、大藏省當局ノ御出席ヲ求メ
マシテ、其ノ上デ一ツ此ノ點ニ付キマシテ
質問ヲ試ミタイト思ヒマスルカラ、ドウゾ
委員長ニ於カセラレマシテモ御交渉ノ上、
其ノ都合ヲ承リタイト思ヒマス
○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 今大藏省ノ
都合ヲ聽イデ御返事ヲ申上ゲマス

○公爵一條實孝君 私モ梅園子爵、絲原君
ノ御質疑ニ關聯シタ實ニ哀レナル山林所有
者ノ相續税ニ付テハ、多少耳ニシタコトガ
アルノデアリマス、之ヲソレハ大藏省ノ方
ノコトダカラト云ッテ、農林當局ガ何等カ餘
所ノモノノヤウニ御考ニナッテ居ルヤウナ
程度デハ、連モ是ハ私何時ニナッテモ解決出
來マイト思ヒマス、殊ニ山林ヲ保護スル國
策ヲ御立デニナル以上ハ、色々此ノ山林所
有者ニ對シテ御考ニナラナキヤナラスコト
ガ澤山アルト思フノデアリマス、午前ニ金
融ノ御話モアリマシタガ、金融ニ付テモ單
ナル金融業者ノ任意ノ行爲等ニ御任セニナ
ラズ、モット徹底的ニ國家百年ノ計ノ爲ニ山
林ヲ保護シ、國民ヲシテ愛林ノ思想ヲ無ク
サセナイヤウニ、寧ロ助長シテ行カウト云

○絲原武太郎君 只今御質問ニ相成リマシ
タ山林課税問題ニ付キマシテハ、私モ當局
ニ質問致シタイト考ヘテ居リマシタガ、今
回法案改正ニ依リマシテ、民有林ノ一種ノ
伐採制限ヲ受ケナクテナラスヤウナコト
ト相成ルノデアリマス、從ッテ山林カラ生ジ
マス收益ニ對シマスル課税、殊ニ相續税ノ

フニハ、進ンデ國家ガ低利資金ノヤウナ特別ナ方法ヲ御考ニナルト云フコトモ一ツデアリマセウシ、現在何千萬ト云フヤウナ大キナモノヲ持ッテ居ルヤウナ人モアリマセウガ、サウ云フ人ガ相續ノ爲ニ明カニ亡ビ行クト云フヤウナ狀況ヲ農林當局ガ知リナガラ、ドウモ物納制度ト云フコトニ付テハ徵稅ニ困難ダカラト云フヤウニアッサリ御片付ニナルト云フコトハ、私ハ如何ニモ冷淡ナコトダト思フノデアリマス、私ハ管テ井上準之助君ガ大藏大臣當時カラ説ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、獨リ山林バカリデヤナイ、市街ノ中ニアル土地アタリデモ、實際土地ヲ持ッテ居ッテ税金ノ納メラレナイヤウナ狀況ノ人モ、決シテ少クハナイト思フ、殊ニ山林ノ如キハ明カニ相當ナ大キナ面積デモアリマスカラ、之ヲ政府ガ何分ノ一ナリノ物納ヲ御許シニナクタルト云ッテ、決シテ私ハ不都合ナモノデヤナイト思フ、サウ云フコトサヘモ、自分達ノ官吏ノ方ノ立場カラ云ッテ都合ガ惡イトカ、或ハ面倒ガルトカ云フヤウナコトヲ言ハレルト云フコトハ、私ハ恐ラク思召ノ點ガ私ニハ分ラヌノデアリマス、自分達ハドンナ苦勞ヲシテモ、此ノ折角山ヲ持ッテ居ル……先祖代々山ヲ持ッテ居ルカ、或ハ近年ニナッテ山ヲ持ッ

カ知リマセヌガ、サウ云フ人ニ、個人ノ爲バカリデアリマセヌ、國家ノ爲ニ山林ヲ保タシメル、又施業法デモ何デモヤッテ將來ノ計ヲ圖ルト云フコトナラバ、ソレヲ保護助長シテ行クト云フ、是ハ溫カイ氣持ヲ一ツ農林當局ガ御持チニナルナラバ、唯税金ヲ取ルコトガ面倒ダトカ、ムツカシイカラトカ云ッテ、大藏省ガ縦ンバ反對シタ處ガ、ソレヲ私ハ打破ルダケノ一ツ氣魄ヲ以テ御臨ミニナルベキモノダト私ハ思フノデアリマス、サウ云フコトニ付テ若シ御助力ガ要ルナラバ我々モ及バズナガラ議員トシテ御助力申上ゲテモ宜イト思フ、如何ニモ私ハ良民ヲ唯壓迫シテ、サウシテ遂ニ山林ヲ大キナモノヲ持ッテ居ル爲ニ產ヲ失クシテシマウト云フヤウナコトハ我々ハ耳ニシタダケデモ、如何ニモ是ガ一體昭和ノ御時勢カト思フヤウニ私ハ思フノデアリマス、其ノ點ヲ一ツ今梅園子爵ニ御答ニナリマシタケレドモ、マダ何レ大藏當局ガ御臨ミノ上直ニ絲原君カラモ詳細ノ御質問ガアルデアリマセウケレドモ、私ハ差當リ自分ノ氣持ヲ申上ゲテ山林局長ノ一ツ特ニ御考ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○政府委員(村上富士太郎君) 只今一條公爵カラノ仰セ誠ニ御尤デゴザイマシテ、唯私モ茲ニ私見ヲ申上ゲルノハドウカト思ヒマシテ、所管ガ大藏省デアリマスカラト云フノデ、大藏省ノ意嚮ヲ傳ヘタ譯デアリマス、私一個ノ私見ト致シマシテハ一條公爵ノ御意見ニ全ク同感デゴザイマシテ、山林局ノ立場カラ申シマスレバ今ノ稅制ハ相當改正ヲスル必要ガアル、殊ニ相續稅ニ付キマシテハ所得稅トノ間ニ二重課稅ノヤウナ關係モアリマスシ、又相續稅ヲ拂フガ爲ニ、殊ニ山林ガ値下リシタト云フヤウナ場合ニ於テハ、ソレガ爲ニ山林家ガ其ノ所有ノ一部ヲドウシテモ賣ラナケレバナラスト云フヤウナコトニナラウト思ヒマス、處方山林カラ申シマスルト大面積ノ山林ハ成ルベク之ヲ一人ノ人ガ持ッテ居ル方ガ宜イト云フコトハ、世界各國ノ孰レモ認メテ居ル所デアリマシテ、サウ云フ點カラ云ッテモ相續稅ガ山林經營上ニ於テ非常ナ支障ヲ來スト云フ事實ヲ認メテ居リマス、之ニ付テハ財務當局トモ大イニ折衝シナケレバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマス、其ノ點ハ全ク同感デゴザイマスガ、是ハ唯茲ニ今迄ノ經緯ヲ申上ゲルトサウ云フコトニナッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○公爵一條實孝君 山林局長ノ御心持ハ能ク分リマスガ、併シドウゾ山林局長ト云フ公職ノ上ニ於テ大臣ヲ十分ニ御援ケニナッテ、場合ニ依ッテハ大臣カラ此ノ委員會デ、私ハ斯ウ云フコトニ付テ大藏當局ト十分折衝スルト云フ所迄一ツ私ハ此ノ心持ヲ吐イテ戴カウカトモ思フノデアリマス、山林局長御自身デ現在十分ニ御了解ニナッテ居ルコトデアルナラバ、一ツ山林局長ト云フ公職ニ依ッテ大臣ヲ御援ケニナリ、サウシテ大藏省ト十分ナ御折衝ヲナサッテ、大藏省ガ多年頑冥不靈デ物納ト云フコトヲ少シモ考ヘテ居ラナイ、考慮スル考慮スルト云ッタ處デ、井上準之助君ガ大藏大臣デアッタコトハ餘程古イコトデ、モウ考慮シタッテ大抵徵ガ生エテシマッテ居ル、唯考慮スル考慮スルダケデト思ヒマス、ソコハ我々ノヤウナチッポケナ聲デハイケマセヌカラ、公務ヲ御持チニナッタ御方ニ於テ森林ノ如キハ斯ウ云フ狀態デアルカラト云フコトヲドシノ仰シヤルヤウニナレバ、大藏省ニ御話ニナレバ、私ハ此ノ良民ト云フモノハ助カルデアラウト斯様ニ考ヘテ、大變意見ガマシイコトヲ申上ゲマシタガ、希望ヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 絲原君ニ申上ゲマスガ、今大藏省當局ハ二十分バカリスルトコッチニ見エルト云フコトデゴザイ

マスカラ宜シウゴザイマス

○森原武太郎君 宜シウゴザイマス、他ニ御質問ノ御發言ガアリマセスケレバ、此ノ際御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、林道網ノ計畫ノ實施ニ付キマシテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、御承知ノ通り山林ハ何レモ地理的ニ假遠ノ地ニアリマシテ、概ネ急峻複雑シテ居リマシテ、交通不便ト云フコトハ申ス迄モナイコトハ思ヒマス、從ッテ文化ノ恩惠ニモ浴スルコトモ薄イノミナラズ、經濟狀態モ未ダニ極メテ單純幼稚デアリマス、之ニ關シマシテ考ヘマスルニ山林其ノモノノ主產物カラ見マシテ、用材、薪炭材等ノ收穫ヲ得マスニハ長年月ヲ要スルノデアリマスカラシテ、自然スカル狀態ニアルコトハ已ムヲ得ヌコトデアリマスルガ、併シナガラ全國ノ山林所有者ノ中デ、小面積ノ所有者ガ大部分ヲ占メテ居ル狀態カラ見マシテ、我が國ニ於キマシテハ、常時ノ生活資源ハ製炭及薪材ト云フヤウナモノヲ伐採ヲシ、搬出致シマスル勞動ニ依リマシテ、漸ク生活ヲシテ居リマス、從ッテ農耕地ノ少キ山地ニ於テハ米ヲ始メト致シマシテ、主要食物モ日常生活ノ必要品モ自給シ得ナイノデアリマス、ドウシテモ高價ノ運賃ヲ支拂ヒマシテ、サウシテ之ヲ他ニ求メル外ニ方法ガナイノ

デアリマス、幸ニ致シマシテ此ノ主產物タル木材ヲ始メト致シマシテ、薪炭ノ價格ガ相當ニ保タレテ居リマス時ニハソレ程デモアリマセヌガ、一朝不況ニ遭遇致シマス時ニハ非常ニ茲ニ困難ヲ齎シマス例ヘ農村ト事情ヲ異ニシテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ現在ノ狀況ヲ見マスルト、如何ニモ幾ラカ此ノ主產物タル木材、薪炭類ノ價格ガ騰貴致シマシタケレドモ、之ニ比シマシテ、又生活必需品ノ非常ナル昂騰ヲ致シテ居リマス、從ッテ矢張り收支モ不均衡デアリマシテ、困窮ノ狀態ガ見エテ居ルノデアリマス、ドウシテモ斯カル意味カラ申シマシテ、山村ノ振興ニハ茲ニ山村交通ト云フモノニ付テ考ヘナケレバナラスコトハ、是ハ私ノ申上ゲマス迄モナイコトデアリマスガ、此ノ交通不便ノ缺陷ヲ除去致シマスルト共ニ、現在最モ緊急ヲ要シテ居リマス所ノ薪炭資材ノ搬出ヲ速カナラシメルト云フコトガ、又之ニ附加ヘテ非常ニ急務ヲ要スルノデアリマス、現在ノ木材、薪炭ノ市場ノ價格ト產地ノ狀況ヲ見マスルト、山間地方ノ如何ニモ勞働ガ減ジテ參リマシタト云フコトハ、事實デアリマスルガ、是以上ニ中間ノ運搬ニ要シマスル經費ガ非常ニ嵩シデ居ルノデアリマス、即チ主ナル運

搬機關デアリマス所ノ「トラック」、貨物自動車ノ制限ヲ受ケマシタリ、或ハ馬匹ノ減少致シマシタ結果トシテ畜力運搬ノ非常ナル不自由ト云フコトニ依リマシテ、左様ナ中間費用ヲ多分ニ要シマスル爲ニ、事實ノ山村ニ於キマスル收入ハ此ノ物價ガ騰貴致シマシテ、即チ此ノ資材ガ騰貴致シマシタニ拘リマセズ左程ノ好結果ヲ得テ居リマセヌコトハ、是ハ只今申上ゲマスヤウナ事實ニ依リマシテ左様相成ッテ居ルノデアリマス、然ルニ拘リマセズ前回申上ゲマシタ如ク近年地方工業ノ發達、殊ニ纖維工業ノ急激ナル増進ノ爲ニ、之ニ應ジマスル資材ハ相當巨額ナモノト考ヘルノデアリマス、茲ニ於キマシテ此ノ林道ノ開發等ノ必要ト云フコトニ付キマシテハ、モウ衆議院ニ於キマシテモ委員會デ色々繰返シ述ベラレテ居リマスルシ、政府當局ノ御答辯ノ中ニモ此ノ際急ニ應ジテ、サウシテ奥地ノ老齡過熟ノ山林ノ伐採ヲ必要トスル、之ニ依ッテ此ノ木材不足ノ供給ヲ補ヒタイト云フ風ナ御答辯ガ繰返シアッテ居リマスノデゴザイマス、デ只今ノ當局トシテノ施設ハ如何相成ッテ居ルカト云フコトヲ伺ヒマス、民有林ノ一千二百町歩ノ中、僅カ林道ノ開設致シテ居リマスル所ハ百七十萬町歩、即チ一割餘ニ

過ギナイ狀態デアリマシテ、此ノ狀態デ、衆議院デ御答辯ニナリマシタヤウナ、此ノ際政府ハドレダケノ奥山地ノ資源ヲ動員シタイト云フヤウナコトヲ御考ニナリマシテモ、是ハ過誤ノコトダト私ハ考ヘル、運賃全國ヲ平均致シマシテ林道ノ開設ニナッテ居リマスル土地ト未開設ノ山林ト運搬費ノ平均額ハ如何相成ッテ居ルカト云フコトヲ取調ベテ見マスルト、約四割乃至五割ノ、此ノ開設如何ニ依リマシテ輕減スルカ否カト云フ實績ヲ示シテ居ルノデアリマス、現在十年計畫ノ林道計畫ヲ樹立セラレマシテ著々御實行ニハ相成ッテ居リマスルケレドモ、本年度即チ十三年度ノ如キモ計上ニナリマシタ林道ノ費用ガ急ヲ要スル爲ニ一部分ハ他ニ轉用サレル、若シクバ林道ノ使用地節約額トシテ之ヲ削減サレルト云フヤウナ狀態カラ見マスルト、只今政府ノ發表ニナッテ居リマス所ノ林道計畫ハ將來何十年ノ後ニ完成シ得ルモノデアリマセウカ、殊ニ急ヲ要シマスル今日ニ於キマシテ左様ナ御氣持デハ、私ハ山林ノ開發ハ固ヨリ此ノ急ニ應ズル爲ノ御計畫モ爲シ得ザルト想像サレルノデアリマス、此ノ際私ノ希望ト致シマシテハ速カニ此ノ計畫ノ實行ヲ、貫徹努力ヲ希望スルノデアリマスガ、先ヅ以テ

今後ニ於キマス林道計畫ニ付キマシテ當局ノ御考ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 林道ヲ開發致シマスコトハ最モ必要ナコトデゴザイマシテ、殊ニ勞力不足致シマシテ運搬費ガ高クナリマス今日ニ於テ之ヲ輕減スルト云フ意味カラ言ヒマシテモ、林道ヲ開發シナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ現在山奥ニアリマス所ノ相當蓄積ノ多イ一町步當リ二百五十石以上ノ林地ガ只今約三百萬町步位未開發ニ殘ッテ居リマス、之ニ對シマシテ至急ニ林道ヲ作ラナケレバナラスト思ヒマス、現在林道ノ經費ハ御承知ノ通り幹線林道トシテ百萬圓、其ノ外ノモノトシテ三十萬圓、兩方合セテ百三十萬圓デゴザイマス、是ガ過小ナ計畫デアッテ、明年度以降ニ於テ之ガ擴充ヲ要スル、之ガ爲ニ十分ニ擴充ニ付テハ我々ハ努力シナケレバナラスト云フコトハ大臣、政務次官執レモ衆議院等ニ於テモ屢々言明ヲ致シテ居リマスコトデゴザイマシテ、明年度以降ニ於テハ少クトモ之ガ擴充ヲ致サナケレバナラスト思ッテ居リマス、ソレデ私共ノ計畫ト致シマシテハ、十箇年計畫ト致シマシテ此ノ三百萬町步ノ森林ヲ開發スルニハ、車道ガ延長ト致シマシテ二萬二千五百九十四「キロメートル」ヲ必要ト

シ、其ノ外ニ土場ノ面積ガ六千七百三十八「アール」、ソレカラ木材輸送路ノ延長ガ八百八十三「キロメートル」、貯木場ガ三萬四千二百二十「アール」ヲ建設ショウ、斯ウ云フ計畫ヲ持ッテ居リマス、斯ウ云フ計畫ヲ明年度以降ニ實現シタイト思ヒマス、何トナレバ一方ニ於テ森林法ノ施行ニ依リマシテ施業案ガ出來テ參リマス、ソレニ依ッテ具體的ニ動イテ參リマスノモ明年度以降ニナルカトモ思ヒマス、ソレニ對應シテ明年度以降ニ於キマシテ林道計畫ノ擴充ヲ期シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○絲原武太郎君 大體ノ計畫ニ付キマシテハ只今ノ御答辯ニ依リマシテ拜承ヲ致シマシタガ、矢張り前ニ、即チ十三年度以降ニ計畫セラレテ居リマス計畫ヲ幾ラ増大ナサルト云フ考ヲ有セラレテ居リマスカ、其ノ點ニ付キマシテ……

○政府委員(村上富士太郎君) 現在ノ計畫ヲ明年幾ラニ致シマスカ、金額ノ方ハチヨット申上ガ兼ネマスガ、大體十年計畫ト致シマスカラ、一年ニ車道ニシテ一千二百六十「キロ」位ノモノヲ實行致シタイト考ヘテ居リマス

○絲原武太郎君 重ネテ何フヤウデゴザイマスガ、其ノ計畫ヲ御遂行ニ相成リマスレ

バ、奥山地ノ未開發ノ老齡過熟ノ資材ハ相當急ニ之ヲ產出シ得マスコトニナリマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 其ノ計畫ガ完成致シマシタ曉ニ於キマシテ、用材ニシテ毎年約千百萬石、薪炭材ト致シマシテ千七百八十五萬石出ルコトニナッテ居リマス、是ハ十年後完成ノ曉デアリマシテ、一年ニ其ノ十分ノ一宛ガ加ッテ行クノデゴザイマス

○絲原武太郎君 林道ニ付キマシテ尙御尋ネ致シタイト思ヒマスケレドモ、同一問題ニ付キマシテ長ラク質問スルコトハ時間ヲ要シマスカラ、是デ其ノ方ハ終リマス、次イデ伺ヒタイト思ヒマスルノハ、現在市場ニ於キマシテ非常ニ木材殊ニ箱ニ要シマスル資材ノ缺乏ヲ來シテ居ルノデゴザイマス、其ノ中最モ關心ヲ持タレテ居リマスル用途ハ、輸出品ニ要シマスル罐詰箱、其ノ他農業方面ノ生産品輸出ニ要シマスル箱類ヲ始メト致シマシテ、或ハ雜貨其ノ他多種ナルモノニ此ノ箱材ノ不足ヲ來シテ居ルト云フコトガヤカマシク申サレテ居ルノデゴザイマス、チヨット或ソレヲ專門方面カラ其ノ用途ニ要シマスル所ノ材料ガ、一年間ニドノ位デアラウカト云フコトヲ尋ネマシタ處、丸太材トシテ約三十石餘ガ必要デアル、

是ハドウモ昨今デハ之ヲ要スル「トドマツ」トカ「エゾマツ」ト云フモノ、即チ北海道、樺太ニ於ケル產地ノ資材殆ド全部ガ纖維工業ノ「パルプ」用材若シクハ製紙用ノ「パルプ」ニ使用セラレテ居ルノデ非常ニ不自由ヲ來シテ居ル、午前中モ山本委員カラ此ノ點ニ觸レラレマシテ質問ガアリマシテ、其ノ片鱗ヲ御答辯ニ相成ッテ居リマスルガ、尙又之ニ加ヘマシテ内地ニ於ケル所ノ秋田方面カラ供給セラレマス資材、或ハ酒屋トカ醬油屋ト云フヤウナ方面ノ不自由モ相當夥シイト云フコトデアリマス、之ニ對シマシテド云フヤウナ御計畫デ是等ヲ處理ナサル御考デアリマセウカ、殊ニ此ノ輸出品ノ如キハ午前中モ御質問ニアリマシタ通り、箱ガアリマシテ、初メテ其ノ輸出ガ出來ル、若シ箱無カリセバ輸出ガ出來兼ネルト考ヘマスルガ、國際收入ノ上カラ致シマシテ、相當重要ナル御役目ヲ果スカ否カト云フコトニ相成ラウト思フノデアリマス、内地用品トシマシテモ固ヨリノコト、生活上相當ノ困難ヲ齎スト云フコトニ相成ルガ故ニ、此ノ邊ニ付キマシテノ見透シ感想ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 北海道ノ箱材ガ逼迫ヲ致シテ居ルコトハ事實ト思ヒマ

ス、是ハ御承知ノ通り「パルプ」或ハ坑木ニ
吸收サレガ爲ニ、箱ニ適スル所ノ物ガ廻
ラナイト云フ事實ハゴザイマスケレドモ、
併シナガラ御承知ノ通り箱材ハ特殊ノ物ヲ
除イタ外ハ、用材ニ致シマシタ残りカラ相
當製作モ出來マス、又松材等モ十分箱ニナ
リマスノデ相當利用ヲ集約ニ致シテ居リマ
スカラ、箱ノ原料ヲ手ニ入レルト云フコト
ハ、サウ困難デハナイト考ヘテ居リマス、
又國有林等ニ於キマシテモ、特ニサウ云フ
方ニ付テハ考慮ヲ致シマシテ、拂下ヲ實行
致スト云フヤウナ實情デアリマス、尙内地
向ノ箱等付キマシテハ、是ハ輸出箱材ト違
ヒマシテ、殊ニ規格等モ相當落シテモ宜シ
イデヤナイトカト思ヒマスノデ、是等ノコト
ハマアサウ心配致サナクテモ宜シイカト私
ハ考ヘテ居リマス

○絲原武太郎君 只今御當局ノ御答辯デ、
樂觀トハ申シマセスケレドモ、サウ悲觀スル
ニ及バナイト云フ御答辯ヲ承リマシテ大變
安心致シマシタ、併シ當業者間デハ相當是
ハ問題ニ致シテ居ルヤウデゴザイマスノデ、
萬一ノコトヲ私ハ此ノ際伺ッテ置キタイト
思ヒマスガ、萬一左様ナ方面ニ非常ナ不自
由ガ參リマシタ時ニハ、北海道、樺太、内
地ヲ通ジマシテ、多少現在ノ國有林ノ伐採

量ヲ増加ナサル御考ヲ有セラレマスカ
○政府委員(村上富士太郎君) 輸出上ニ支
障ヲ來スト云フヤウナ情勢ガ參リマシタレ
バ、輸出箱材ノ原料等ハサウ大シタモノデ
ゴザイマセスカラ、國有林ニ於テ之ヲ補給
致スコトニ付テハ十分考慮致シタイ、左様
ニ考ヘテ居リマス

○絲原武太郎君 序ニ御尋ネ致シタイト思
ヒマスガ、是ハ午前中モ御質問中ニアリマ
シタガ、此ノ山林關係ノ技術員ノ養成デア
リマスガ、是ハ私ハ先日御願ヒ致シマシテ其
ノ取調ノ狀況ヲ戴イタノデゴザイマスガ、
現在ハ誠ニ町村ノ指導員ガ少イ、漸ク四百
二十三人ト云フ數ヲ御示シニナッテ居リマ
ス、此ノ外ニ府縣ノ職員ガ二千九百八十五
人ト云フ數ニ相成ッテ居リマスデゴザイマ
スガ、此ノ二千九百八十五人ノ方々ハ、是
ハ今回ノ改正ニ關シマスル施設ニ付キマシ
テ、固ヨリ其ノ方ノ指揮、指導監督ニ當ラ
レルノデアリマセウケレドモ、從來ノ林政、
林務ノ行政ノ上カラ申シマシテモ、相當私
ハ餘裕ナイト思ヒマスカラ、此ノ人々ガ其
ノ方ニ當ラレルト云フコトハ相當困難ダラ
ウト思フノデアリマス、サウシマス、假
ニ讓リマシテ府縣職員ハ先ズ増加ヲシナ
イ、非常時デアアルカラ此ノ上此ノ施業案ニ

對シマシテ御盡シナル、斯ウ致シマシテ
モ、ドウシマシテモ町村ノ方面ニ對シマシ
テハ相當多數ノ指導員ヲ必要ト致シテ居ル
ノデアリマス、ドウシテモ此ノ仕事ヲ爲サ
ルニハ、午前中ニモ質問ガアリマシタガ
相當ニ是ハ技術ヲ要スル、是ハ素人デハ出
來得ナイ、サウ考ヘマスルト、此ノ點ニ付
キマシテハ午前中御答辯アリマシタケレド
モ、チヨットシタ講習デ素人ヲ使ッテモ宜シ
イト云フヤウナ事柄モアリマシタデゴザイ
マスガ、併シナガラ左様ナ人ノ施業計畫ニ
依リマシテ、果シテ山林所有者ガ安心シテ
協調シテ參リマスカドウカト云フコトハ私
ハ非常ニ疑問ニ致シテ居ル、ドウシテモ相
當ナ專門教育ヲ終ラレタ方デナイト私ハ是
ハ判斷ガ爲シ得兼ネルト思フ、殊ニ此森林
法中改正法律案ノ命令規定事項、第九條
ノ第一項ノ命令中ノ第二項ニ掲ゲテアリマ
ス施業案ノ内容ハ森林ノ生産力ト森林所有
者ノ經濟的能力ニ即應シタル造林及伐採ノ
計畫ヲ定ムルモノトスルコトアリマス、
尙又第十一條ノ三ノ命令事項ニハ施業技術
ノ雇入ヲ命ゼラル、コトアルベキ森林所有
者ハ大約五百町歩以上ノ地積ノ森林ヲ所有
スル者ニシテ國土保安其ノ他公益上特ニ必
要アル場合ニ限ルモノトスルコトアリマ

ス、斯様ナ重要ナル事柄ヲソレノ判斷致
シマシテ施業案ヲ作製シナケレバナラス、
之ヲ指導スル人ハ到底私ハ是ハ素人デハヤ
レナイト考ヘルノデアリマス、所有者ガ利
害ノ關係ヲ有シマス云フコトハ是ハ申ス
迄モナイコトデアリマスガ、ソレノミナラ
ズ午前中申上ゲマシタ大所高所カラ茲ニ改
正案ヲ御提出ニナリマシタ事柄ヲ考ヘマス
ルト、ナカノ此ノ施業案ノ作成ハ容易ナラ
ザル私ハ努力ト苦心ヲ要スルモノト思フノ
デアリマス、從ッテ此ノ指導員ノ養成ニ付キマ
シテハ別段ノ技術ヲ要スルと思フデアリマス、現
在私等ノ地方ノ狀況ヲ申上ゲマス、如何ニモ
甲種程度ノ農林學校ハ二三校バカリアリマ
スケレドモ、兎角其ノ教育方針ガ農業ヲ主
トセラレマシテ、山林業ノ如キハ殆ド教授
ノ科目中ニ極ク僅ナ時間スラ與ヘラレテナ
イヤウナ狀態デアリマス、恐ラク特殊ノ縣
ハ別トシテ、左様ナ狀態ガ多イダラウト思
フノデアリマス、其ノ卒業生等ガ直チニ是
ハ私ハ先刻申上ゲマシタヤウニ、重大ナル
使命ヲ帶ビル所ノ仕事デアリマシテ、役ニ
立ツカドウカト云フコトモ非常ニ杞憂シテ
居ルノデゴザイマスガ、況ヤ今後之ヲ計畫
ナサルニハ、先ヅ以テ此ノ方ノ養成ト云フ
ヤウナ事柄、進ンデハ林業ニ關スル教育ト

云フヤウナ方面ニ付キマシテ、文部省トハドウ云フ風ナ御打合セニナッテ居ルデアリマセウカ、尙私モ地方ノ山林會ニ關係致シテ居リマシテ、種々山林會ノ事業ノ一部分ト致シマシテ、講習トカ其ノ他ヲ行ッテ居リマシテ、是等モ普通中等學校ノ程度ノ素養ノアル人ヲ中心トシテ、是ハソレニ色揚げヲスルヤウナ考デ、從來ハ講習等モ致シテ居リマス、一時他方面ニモ、非常ニ午前中ニモ質問ガアリマシタ如ク、滿洲、又勢力領土内ノ即チ北支ト云フヤウナ方面ニモ此ノ實際様ナ人物ヲ非常ニ吸收セラレ望ミセラレテ居ル此ノ時ニ於キマシテ、果シテ斯様な人ガ得ラレルカドウカト云フコトヲ心配致スノデゴザイマスガ、文部省ト農林省トノ此ノ點ニ付キマシテ、如何様ナ御交渉ニナッテ居ラレデアリマセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 林業技術者ヲ更ニ増加致シマスコトハ必要ト思フ次第デアリマス、此ノ森林組合ノ技術者ハ是ハ直接所有者ト接觸シテ間伐ノ指導、或ハ新炭林ノ改良ト云フヤウナ直接直グ及ブヤウナコトニ對シマシテ、十分指導能力ノアル者デナケレバナリマセヌ、從ッテ甲種農林學校ヲ出テ直グイキナリ斯ウ云フモノニ任命スル譯ニハ無論行キマセヌデアリマシテ、

是ハ相當實務ノ經驗ヲ必要ト致シマス、從ッテ實務ノ經驗ガアレバ場合ニ依ッテハ學校ヲ卒業セナクテモ私ハ構ハナイト思ッテ居ル、要スルニ能ク地方ノ實情ヲ知リマシテ林業者トノ意見其ノ他ヲ十分ニ尊重シ、ソレ等ノ人ト互ニ協力シテヤッテ行ク、サウシテソレガ爲ニハ特ニ必要デアル所ノ間伐ノ指導デアルトカ造林方法ノ指導デアルトカ、或ハ薪炭林ノ改良方法ノ指導デアルトカ云フコトノ出來ルヤウナ人デナケレバイカヌ

ダラウト思ヒマス、ソレガ爲ニハ一方ニ於キマシテ、農林省等ニ於キマシテ、嘗テ特別經營ヲ爲ス場合ニ於テ林業講習所ヲ設ケマシテ、林業技術者ノ養成ヲ致シタト同ジヤウニ、相當ノサウ云フヤウナ人ヲ特ニ選ンデ農林省ニ於テ講習ヲシ、又縣或ハ山林會等トモ協力シテ講習ヲ致ス必要ガアル、サウ云フ方ニハ本法施行後ニ於テハサウ云フ方ノ實施ニ掛カラウト考ヘテ居リマス、唯此ノ點ニ付キマシテ、マダ文部省ト交渉致シマシテ、高等農林學校或ハ大學ノ増設ト云フコトニ付テ交渉ヲシタコトハゴザイマセヌ、又文部大臣ガ此ノ前山本委員ノ御質問ニ對シテ答辯申上ゲマシタ所ニ依リマスルト、大學ノ定員等ハ大分マダ缺員ガアルサウデアリマスカラ、サウ云フ方面ハ此

ノ際特ニ増設スル必要ハナカラウト思ヒマス、但シ高等農林學校程度ノ以下ノモノ、殊ニ林業專門ノ中等學校ト云フヤウナモノニ付テハ、私トシテハ尙増設ノ必要ガアルト考ヘ、是等ノ點ニ付テハ更ニ文部省ナリトモ交渉シタイト考ヘテ居リマス

○絲原武太郎君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、御趣旨ノアル所ハ能ク了解致シマシタガ、唯地方ニ於キマス所ノ組合ノ指導員ハ左程ノ程度ノ學業ヲ卒ヘマシタ者ニ限ラナイデモ、宜シイト云フヤウナ御答辯ガアリマシタノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ、私ハ地方ニ在任シマシテ意見ヲ異ニ致シテ居リマスケレドモ、是ハ又意見ノ相違デアリマスケレドモ、此ノ上御問ハ差控ヘマス、唯ドウシテモ將來林業ニ關シマスル教育ニ付キマシテハ、相當考慮致サネバ是ハ私ハ相成ラヌト云フコトニ付キマシテハ、此ノ際農林省ニ於カレマシテモ、此ノ計畫ヲ御實施ニ相成ルノミナラズ、現在ノ林業界ノ情勢カラ御覽ニナリマシテ、篤ト御考究ノ必要ガアラウト考ヘマスノデゴザイマスノデ、能ク御計畫ニナリマシテ萬遺憾ナキヲ期シタイト思フデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテノ特別ノ御配慮ヲ希望致シテ置キマス、……繼續致シマシテモ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 宜シウゴザイマス

○絲原武太郎君 次ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスコトハ、此ノ改正法律案ノ中ノ施業案ノ内容中ニ、先刻モ朗讀致シマシタ中ニアリマシタ所ノ、森林所有者ノ經濟能力ニ即應シタルト云フ意味ハ、是ハドウ云フ意味カラデアリマセウカ、御伺ヒ致シマス

○政府委員(村上富士太郎君) 例ヘバ杉ノ伐期等ニ付キマシテハ、地方々々ニ相當ノ慣習ガゴザイマス、又其ノ人々ノ御希望モアラウシ、又ソコニ何ヲ植エルカ、杉ヲ植エテ相當長期伐期ヲ採ルカ、或ハ櫟等ノヤウナモノヲ植エテ薪炭林ヲ造成スルカ、ソレ等ノコトモ矢張り其ノ人ノ所有者ノ經濟的能力ト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、ソコデ私共ガ此ノ私有林ノ施業案ヲ作ル場合ニ於テハ、勿論適時適木ト云フコトモ考ヘナケレバナラズ、從ッテ土地ノ生産力ト云フコトヲ十分ニ考ヘナケレバナリマセヌガ、一面ニ於テハ其ノ人ノ經濟能力ト云フコトモ考ヘテ、經濟能力ヲ離レタ所ノ、單ニ學術上ノ理想ノ理想案ト云フモノヲ強ヒテハ、是ハ私有林業トシテモ非常ナ羈束ニナリマスノデ、サウ云フコトノナイヤウニシ

タイト思ッテ居リマス、ソコデ例ヘバ杉ノ理

加ヘタ次第デアリマス

想的ナ伐期ヲドウスルカト云フコトニ至リ

○絲原武太郎君 只今ノ御答辯ニ依リマシ

マス、是ハ林學上カラ言ヘバ其ノ地味等

テ大體經濟的能力ニ即應シタル云々ト云フ

ニ依ッテ多少違ヒマセウガ、一番年平均成長

コトハ了解致シマシタガ、假ニ此處ニ五十

量ノ、一番最大ニ達スルノハ六千何年トカ

町ノ地所ヲ所有シマス人トカ、或ハ五百町

云フコトニナッテ居リマス、ソレガ理想的伐

歩以上、尙ソレ以上ノ廣大ナル面積ヲ所有

期トシテ總テノモノニソレデ推進メルカト

致シマス所ノ人々中ニ、此ノ施業案ハ作

云フト、是ハ私有林業ノ施業案トシテモ間

成致サレテ居リマシテモ、急ヲ要スルヤウ

違ッタコトト考ヘマス、矢張り私有林業ト致

ナ事情殊ニ經濟能力ノ事情ガ起リマシタ際

シマシテハソレノノ慣行伐期、即チ經濟

ニ、ソレニ對シマシテハドウ云フ態度ヲ監

的ニ何時頃伐ルノガ一番利廻リガ宜イカト

督官カラ御執リニナルノデセウカ、詰リ申

云フヤウナコトモ考ヘ、又其ノ人ガ早く造

シマス、俄ニ起リ得ル經濟的能力デ、施

林ノ成果ヲ收メルコトヲ希望サレカ、或

業案ヲ變更セネバナラスト云フヤウナ事情

ハ吉野地方ノヤウニ百年モ置イテ樽丸材ヲ

ガ起リマシタ際ニハ、ドウ云フ風ナコトニ

造成スルト云フコトヲ考ヘルカ、左様ナコ

ナリマセウカ、御伺ヒ致シマス

トモ餘程考慮ニ入レテ施業案ト云フモノヲ

○政府委員(村上富士太郎君) 例ヘバ施業

作ラナケレバナラスト、斯ウ云フヤウナコト

案デ伐期ヲ五十年トシテ居リマシタガ、

デ經濟的ノ能力ヲ考慮スルト云フコトニ致

ルプノ資材ニ供給スル爲ニ之ヲモット伐期

シタノデアリマス、是ガ國有林デアリマス

ヲ下ゲタイ、斯ウ云フヤウナ時ノコトダラ

ト理想的長期ニ導イテ行クト云フ關係カ

ウト思ヒマス、是ハ勿論一向差支ヘナイコ

ラ、伐期等モ相當長イ年月ヲ以テ採ッテ居リ

トデアリマシテ、施業案ノ變更モ宜シ、施

マス、又特別ノ必要ノ爲ニハ二百五十年ト

業案ヲ變更セズ、先キニ伐ッタト致シマシ

云フヤウナ經濟能力ヲ無視シタ所ノ伐期ヲ

テモ、別ニ伐採停止命令ヲ出スベキモノデ

採ッテ居リマスガ、是ハ私有林ニ付テハ左様

ナイト考ヘテ居リマス、私共ガ施業案ニ準

ナ必要ハナシ、又左様ナコトヲ致サヌ方ガ

據セズシテ執行スル場合ニ於テ、伐採停止

命令等ヲ出シマスハ、ソレガ森林ヲ荒廢ニ

導ク、林地ガ荒廢シテ林産保續ガ出來ナイ

宜シイト考ヘマシテ、特ニ斯ウ云フ條件ヲ

ト云フヤウナ、亂暴ナ伐リ方ヲサレル場合

ニ於テ之ヲ差止メル、例ヘバ二十年以下ノ

ト幾ラカ其處ニ摩擦ヲ起サムト致シマスル

事柄ハ相續稅ニアルト思フノデアリマス、

相續稅中ニ種々ナル議論モアリマスルケレ

ドモ、最モ考慮ヲ請ハネバナリマセヌコト

ハ、山林ニ對シマスル相續ノ課稅ノ評價標

準ト云フコトニアルト思フノデアリマス、

其ノ爲ニ私ハ此ノ材料ヲ請求致シマシタ處

ガ、此ノ御示ニナリマシタ材料ニ依リマス

ルト、相當家督相續、遺產相續ヲ通ジマシ

テ、山林ノ土地、立木ニ對シマスル相續財

產ノ評價ト云フモノハ年々相當ノ額ニ計上

セラレテ居リマス、之ヲ申上ゲマスコトハ

種々ノ煩雜ヲ來スヤウデゴザイマスカラ、

此ノ表ハ參考トシテ朗讀ヲ省略致シマスケ

レドモ、此ノ集計ノ十年間ノ數字ダケハ、

是ハ速記録ニ殘シテ置キタイト存ジマス、

御示ニナリマシタ此ノ表ニ依リマスルト、

正十年間ニ於ケル相續山林評價額ハ、昭和

二年ヨリ昭和十一年ノ間ノ十年間ニ其ノ金

額、家督相續ト致シマシテ、評價額ガ五億

八千五百餘萬圓、遺產相續ニ依リマスノガ、

一千五百四十餘萬圓、合計致シマシテ、六

億萬圓ニ計上相成ッテ居ルノデアリマス、山

林ハ他ノ動產ト趣ヲ異ニ致シテ居リマスカ

ラシテ、田畑ノ如ク共通シタル評價ヲ私ハ

有セヌト思フノデアリマス、特別ナル事業

デアリマスルカラシテ、ソレニ依ッテ大イニ
價格ノ變動ヲ來シマシテ、又價格モ特別ナ
ル事業トシテ是ハ定マルモノデヤナイカト
思フノデアリマス、而シテ其ノ收益モ亦時
ノ需要ニ應ジテ初メテ得ラレルモノデアリ
マシテ、需要ニ應ジテ是ハ其ノ地上ノ
物件、即チ立木ヲ賣却スルノデアリマス、
爲ニ若シ之ヲ一時ニ納税ノ必要カラ
シマシテ、一時ニ地上ノ物件即チ立木ヲ
伐採賣却スルコトニナリマスレバ必ズヤ
其ノ平常時ニ於テハ其ノ價ハ下落スルト云
フコトハ申ス迄モナイ事柄ニ相成ルト思ヒ
マス、即チ一時ニ生産夥多ニ相成リマスカ
ラシテ價格ガ下落スルノハ已ムヲ得ナイコ
トト思ヒマス、是カラ考ヘマスト相續致シ
マシタ時ニ其ノ時價ガ一時ニ、相續後ニ於
キマシテ多量ノ伐採ヲ致シマス云フコト
ニナリマスレバ、相續當時ノ評價ヨリカ供
給ガ多過ギル爲ニ是ハ下落スルト云フコト
ニナリマシテ、相續當時ヨリモ下落ノ實績
ヲ齎シマスカラ、數倍ノ納税ヲスルト云フ
ヤウナコトニ相成リハスマイカトモ考ヘマ
スルノデゴザイマス、殊ニ今回ハ斯様ナコ
トガ森林法改正ニ依リマシテ爲シ得兼ネル
ヤウナコトニナリマスコトハ施業法ニ依リ
マシテ伐採等ニ付キマシテモ一種ノ制限ヲ

受クルコトニ相成ッテ居リマスルガ故ニ、相
續開始直後ト雖モ無暗ニ之ヲ伐採スルコト
ハ得兼ネルコトニナル、從來相續者ガ山林
ヲ伐採シテ是ガ納税ノ爲ニ賣却ヲスルト云
フコトニ相成リマス、先ヅ山林ヲ伐採致
シマシタ收益ニ對シマシテ、申ス迄モナク
所得税ヲ初メト致シマシテ、其ノ附加税、
其他ノ地方税、府縣ノ附加税、戸數割ト云
フヤウナモノヲ徴收セラレマシタ、其ノ殘
額ニ非レバ相續税ニ供スルコトハ出來ナイ、
殘餘ノ金額ガ貯蓄ノ餘裕アル人デアリマシ
タナラバ幾ラカデモ相續税ニ充テルコトガ
出來ルノデアリマスガ、若シ此ノ殘餘額ノ
僅少ノ人ハ直チニ是ハ山林其ノモノノ賣却
ヲセネバナラヌ事情ガ起ッテ來ル、然ルニ地
方ニ依リマシテ昔カラ申サレテ居リマシタ
ガ、若シ大山林ノ所有者ノ人ガ相續ノ爲ニ、
大部分ノ立木デモ賣却スルト云フコトニナ
リマスレバ、先ニ申上ゲマシタヤウナ直チ
ニ立木ノ價格ガ下落致シマシテ、サウシテ
今申シマス殘餘額ノ極メテ僅少ナコトニ相
成ルノデアリマス、山林相續税ハ現在ニ於
キマシテハ、税務署ハ評價徴税セラレテ居
リマス、例ヘバ一千町歩ノ山林ノ價格ハ一
町歩ノ價格ノ千倍ダ、斯ウ云フコトトシテ
徴税セラレテ居ルノデアリマス、又造林シ

マシテ間モナイ山林ハ、造林ノ經費デモ直
チニハ賣レナイニ拘リマセズ、是等モ相當
幼樹造林地トシテノ價格ヲ評價セラレテ居
リマス、全體地方ニ於キマスル、狀況ヲ見
マス、小サイ面積ノ山林ハ直チニ賣レマ
スガ、大面積ノ山林ヲ賣却シヨウト思ウテ
モ、ナカ／＼賣却ノ出來ルモノデアリマセ
ヌ、是ハ一般ニ御調ニナリマスレバ能ク分
リマスガ、是ハ可ナリ不可能ナコトニ相成
ルノデゴザイマス、從ッテ已ムヲ得マセスカ
ラ、此ノ地上ノ物件ニ依リマシテ納税ヲ果
サムトシマシテ、幼樹、幼齡樹ノ伐採ヲ致
スヨリ他ハ方法ガナイコトニ相成リマスガ
故ニ、今回此ノ改正法律案ノ施行セラレル
コトニナリマス、ソレモ亦許サレナイ、
施業案ニ依ッテ束縛セラレルト云フコトニ相
成ルノデゴザイマス、税務署ノ評價ガ今申
上ゲマシタヤウナ狀況ニアリマスルノデ、
直チニ賣リ得ナイモノヲ賣レルモノト假定
シテ課税セラレテ居リマスルカラ、納税
者ガ非常ニ是ハ困ルト云フコトガ起ルノデ
ゴザイマス、茲ニ於キマシテ一般ニ申シマ
スルコトハ、已ムヲ得ナイカラドウカ其ノ
評價價格ノ現物デ納税サセテ貰ヒタイト云
フコトハ、之ニ依ッテ起ル聲デアラウト考ヘ
マス、ソレデ若シ左様ナ議論ガ實行シ得ル

コトニナリマスレバ、納税ノ力ナキ者ハ已
ムヲ得ズ、茲ニ評價サレマシタ所有山林ノ
一部ヲ提供シテ納税ニ代ヘテ其ノ義務ヲ果
スト云フコトニ相成リマスカラ、繰返シテ
申上ゲマスヤウデゴザイマスガ、物納ヲ許
サレタイ、現物提供ヲ許サレタイ、ト云フ
議論ガセラレルノデゴザイマス、今「ドイ
ツ」ノ山林相續税ニ付キマシテ聞キ及ンデ
居リマス所ニ依リマス、是ハ收益價デ徴
税セラレテ居ルヤウデアリマス、即チ山林
ニアリマシテハ、年々平均ノ山林收入ガド
レダケアルカ、サウシテ幾ラノ木材ハ伐採
スルコトガ出來ル、之ニ對シマシテ年々平
均シタ費用ハ幾ラ必要デアアルカ、之ヲ調ベ
マシテ、其ノ山林ニ對シマスル資本價ヲ還
元セラレテ、其ノ資本價ニ對シマシテ
ノ課税ガセラレテ居ルト云フコトデア
リマス、果シテサウ云フコトニ相成リ
マスレバ、私は是ハ合理的ナモノト思フ
ノデアリマス、現レタ茲ニ評價ヲ以
テ律スベキモノデナイト思フ、其ノ山
林ガ幾ラノ資本ヲ生出スカト云フコトニ付
テ、ソレヲ調査セラレマシテ、其ノ資本價
ニ對シマスル課税デアリマスレバ、是ハ合
理的ナ税デナイカト思フノデアリマス、即
チ之ヲ言換ヘマスルト、「ドイツ」ノ山林相

續税ハ收益價ニ依ッテ課税、徵税セラレテ居
ルト申シテ差支ナイト私ハ思フ、此ノ程度
ナレバ是ハ金納デ差支ナイト思ヒマスガ、

私ハ此ノ徵税ハ相當ノ改正ヲセラレムコト
ヲ希望致ス次第デアリマス

○政府委員(大矢半次郎君) 御答へ致シマ

現在ノ如キ其ノ當時ノ賣價ヲ、或ハ其ノ評
價ヲ、假設的ニ廣大ナ山林ニ評定、評價セ
ラレマシテ、直チニ換價出來ナイ財産ニ
向ッテ課税致サレルト云フコトガ、相當是ハ
無理ナ私ハ課税デヤナイカト思フ、即チ課
税當時ニ於キマシテハ、私ハ假定シタル評
價ニ對シテノ課税デハナイカト思フ、サウ
ナリマスレバ、ドウモ已ムヲ得ズ現物提
供、即チ物納ヲ是ハ許サレル外致方ナイ結
果ニナリヤシナイカト云フコトヲ考ヘラレ
ル、現ニ大山林家ノ方ガ、山林所有者ノ方
ガ、相續開始ト共ニ非常ナ困難ニ陥ラレタ
ト云フコトハ、恐ラク大藏當局ニモ御承知
ニナッテ居ルコト思フ、今日ノ評價ニ依リ
マシテ、評價課税ヲ受ケマシテ、分納中ニ
非常ニ評價ガ、其ノ立木ノ價格ガ下落スル
ト云フヤウナ狀態ガ起リマスレバ、一層此
ノ苦痛ハ甚ダシカラウト思フ、聞ク所ニ依
リマスレバ、近ク中央地方ヲ通ジマシテ、
根本的ニ税制改正ヲ行ハレムトスル政府ノ
御意思ガアルヤウデアリマスノデ、此ノ際
當局ノ山林相續税ニ對シマスル御調査ナ
リ、又御考ヲ承ッテ置キマスルト共ニ、是非

ス、我ガ國ハ世界ニ類ヲ見ナイ家族制度ノ
國デアリマシテ、此ノ國柄ニ於テ相續税ヲ
現在ノヤウニシテ賦課スルノハ如何デアラ
ウカト云フコトガ最初ノ御尋デアリマシタ
ガ、此ノ點ハ十分現行法ニ於キマシテモ考
慮セラレマシテ、家督相續ニ付キマシテ
ハ遺產相續ト異ル率デ課税ノ負擔ノ輕減
ヲ計ッテ居ル次第デゴザイマス、尙家督相續
ニ於キマシテハ、相續財産ノ價格ガ五千圓
ニ充タナイ場合ニハ課税シナイト云フ風ニ
致シテ居リマシテ、最小限度家族制度ヲ維
持シテ行ク上ニ必要ナルモノニ對シテハ、
相續税ヲ賦課シナイ、斯ウ云フヤウナコト
ニナッテ居ルノハ御承知ノ通りデゴザイマ
ス、次ニ相續財産ノ山林ニ付テノ評價問題
デゴザイマス、是ハ御説ノ通り誠ニ困難ナ
ノデゴザイマシテ、山林ノ時價ト致シマシ
テモ、土地其ノモノヨリハ寧ロ立木ノ評價
ニ困難ナ事態ガアリマス、其ノ木ノ種類、
樹齡、交通ノ便否、或ハ自然林ナリヤ、人
工林ナリヤ、各種ノ方面カラ能ク考察ヲ逐
ゲテ、ソレガ評價ノ適實ヲ期セナケレバナ
ラヌ譯デゴザイマス、殊ニ人工林ニ於キマ

シテ幼齡樹林ノヤウナ場合ニハ、此ノ評價
方法ニ於テ最モ慎重ヲ期セナケレバナラヌ
ト思ヒマシテ、現在モ深く其ノ點ニ留意ス
ルヤウ致シテ居ル次第デゴザイマス、ドイ
ツニ於ケル山林ノ時價評價ノ點ニ付テノ御
話ガゴザイマシタ、實ハ「ドイツ」ニ於キマシ
テハ、御承知ノ通り一般ノ財産税モ施行セラ
レマシテ、土地其ノ他ノ不動産ノ評價ニ關
シマシテモ、特別ノ評價法ガ制定セラレテ
「ドイツ」主義ノ非常ニ綿密ナル規定ヲ設ケ
テ居リマス、山林ニ付キマシテモ、私共此ノ
評價規定ヲ讀ンデ見テモ、ナカ／＼一遍ニ
ハ了解シ得難イヤウナ非常ニ緻密ナル規定ヲ
設ケテ居リマス、唯是ガ果シテ實際ニ於テ適
實ニ實行セラレテ居ルカドウカト云フ點ニ
付テハ多少疑問ガアリマス、「ドイツ」ハ
非常ニ法令ハ完備シテ居ルノデゴザイマス
ルケレドモ、實際ハ果シテ其ノ通り行ッテ
居ルカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、
多少疑ガゴザイマスガ、兎ニ角ニ評價方法
ガ非常ニ緻密ナル規定ガゴザイマシテ、
御話ノアリマシタ通り週期還元ノ原則ニ
據ッテ居ルカドウカト云フコトニ付キマ
シテハ、私共的確ニ承知致シテ居リマセ
ヌガ、各種ノ場合數多ク分類致シテ詳細ニ
規定シテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ我

ガ國ニ於キマシテハ一般財産税モ施行セラ
レテ居リマセヌシ、殊ニ此ノ評價ノ困難ナ
山林ニ付キマシテハ私共ノ取扱ノ内規ト致
シマシテモ、一般的ノ規定ハ別ニ設ケテ居
リマセヌ、唯實際相續ヲ開始シタ場合ニ於
キマシテ、近傍類地ノ賣買實例、或ハ先程
申上ゲタ交通ノ便否、樹齡其ノ他諸般ノ狀
況ヲ能ク考察シテ適實ニ課税シヨウ、殊ニ
幼齡樹林ノ如キニ對シマシテハ、必ズシモ
今迄ノ投資價值ヲ基礎トセズシテ、其ノ
樹齡ノ程度將來伐採期ニ至ル迄ノ金利ノ狀
況等モ能ク見テ、適實ヲ期スルヤウニト云
フ方針デ評價シテ居ル次第デゴザイマス、
大山林ヲ持ッテ居ル方ガ相續ヲ開始シタ場
合、納税上非常ニ苦シンダ實例ガアルコト
モ十分承知シテ居リマス、是ハ昭和三四年
乃至四五年時分ニ相續ガ開始致シマシテ、
其ノ後昭和六七年頃ニ經濟界ノ不況ノ時ニ
於キマシテ、山林ノ時價ガ暴落シタ、而モ
相續財産ノ價格ハ相續開始當時ノ時價ニ依
ルト云フコトニ規定サレテ居リマス結果、
暴落前ノ非常ニ高イ時價デ評價サレテ、相
續税ノ納付ハ山林ノ暴落シタ後ニ於テ納メ
ナケレバナラヌ、而モ山林以外ニ目星シイ
資産ガナイカラシテ、立木デモソレヲ處
分シテ其ノ納税ヲシナケレバナラスト云フ

場合ニ澤山木材ヲ伐採スルト、御話ノ通り
材木ノ價格ガ尙低落シテ行クト云フ狀況
デ、非常ニ苦シマレタ實例ハ承知シテ居リ
マス、殊ニ奈良縣方面ニ於キマシテ、大體
灘ノ酒造家ノ酒樽用ノ木材ヲ主トシテ伐リ
出ス方面ニ於キマシテハ、其ノ需用量モ自
ラ年々限度ガアルノデアリマスカラシテ、
木材ヲ澤山處分シヨウトスレバ益、足下ヲ見
ラレテ價格ガ低落スル、非常ニ困タト云フ
實例ハ承知致シテ居リマス、幸ニコ、數年
間ハ木材ノ價格ガ上向イテ來テ居リマスル
ノデ、當時トハ狀況ガ餘程變テ來テ居リマ
シテ、從テ課税上モ徵收上モ昭和六七年當
時ノヤウナコトハ比較的少クナッテ來タカニ
承知致シテ居リマス、ソレデ物納ノ點デゴ
ザイマスガ、是ガ不動産、殊ニ山林ニ付キ
マシテ屢、問題ニセラレテ居リマシテ、私共
十分考究ヲ致シタノデゴザイマス、併シナ
ガラ租税ノ性質ト致シマシテ、國家ガ之ヲ
徵收シテモ現金デナケレバ結局其ノ物ヲ換
價シナケレバナラス、從テ保管費却ト云フヤ
ウナ手數ヲ經テヤルコトハドウモ實行困難
デハナカラウカト云フコトニ今迄ノ所考ヘ
テ居リマス、世界各國ノ事例ヲ見マシテモ、
相續税ニ於テ物納制度ヲ採ッテ居ル所ハ殆
ドアリマセヌ、僅カニ英國ニ於キマシテハ

確カ千九百十年カト存ジマシタガ、此ノ相
續税ニ於テ物納制度ヲ設ケタノデアリマス
ケレドモ、其ノ後今日ニ至ル迄二十何年間
ノ間其ノ適用ニナツタノハ僅カニ一年カ二
年ニ過ギナカッタ、納メル側ニ於キマシテ
モ、亦政府ニ於キマシテモ、折角物納制度
ヲ設ケラレタケレドモ實行困難ナ狀況ガ
アツテ、實際ニハ行ハレテ居ナイト云フ狀
況ナサウデゴザイマス、併シナガラ此ノ不
動產殊ニ山林ガ相續財產ノ中、多額占ム
ル場合ニ於キマシテハ、納税者ノ非常ニ苦
痛ノアル所ハ御話ノ通りデゴザイマスガ、
一昨年臨時租税増徴法ノ實施ニ當リマシ
テ、相續税率ガ相當引上ゲラレタ、ソレヲ
機會ト致シマシテ、從來相續税ノ年賦延納
最高七箇年デアリマシタモノヲ、此ノ不動
產ガ相續財產價格ノ半バ以上ヲ占ムル場合
ニ於キマシテハ、十箇年迄年賦延納ガ許サ
レルコトニ改正致シマシテ、其ノ間ノ苦痛
ノ緩和ニ資シタ次第デゴザイマス、尙相續
税ニ於テハ年賦延納ニ對シマシテハ、却テ
五分トカ六分トカノ利子ヲ附シテ利息分ヲ
徵收シテ居ルノデゴザイマスケレドモ、日
本ニ於テハサウ云フコトモ致シテ居リマ
セヌ、斯ウ云フ點モ幾分此ノ不動產ヲ澤山
持ッテ居ル方面ニ對シテノ、負擔ノ緩和ニ資

スル點ガアルノデハナカラウカト存ジマ
ス、兎ニ角他ノ財產ト違ヒマシテ、山林
ニ付キマシテハ、其ノ評價ノ適實ヲ期スル
コト困難ナルト同時ニ又之ガ納付ニ於キマ
シテモ他ノ財產ト違ッテ特殊ノ事情ガアル
ト云フコトハ十分承知致シテ居リマス、殊
ニ此ノ度森林法ガ改正セラレマシテ、各種
ノ規定モ設ケラレマシタカラ、此ノ法律ガ
實施セラレルヤウニナリマシタナラバ、更
ニソレ等ノ點モ十分考慮致シマシテ、山林
ノ相續財產價格ノ評定ニ當リマシテハ、無
理ノ掛ラヌヤウニ致シタイト存ジマス、尙
昭和十五年ヲ期シテ一般ノ税制整理ヲ致シ
タイト存ジテ居リマス、其ノ際ニ於キマシ
テモ、是等ノ點ニ付キマシテ、十分考究ヲ
致シタイト存ジテ居リマス
○絲原武太郎君 只今主税局長カラ懇切ナ
ル御答辯ヲ得マシテ、御意思ノ在ル所ハ拜
聽致シマシタ、私ハ昨年ノ農地委員會ニ於
キマシテモ、稍、同様ノ考ヲ以チマシテ、相
續税ノ山林相續ニ付キマシテ、愚見ヲ申述
ベテ置キマシタ、只今ノ御答辯中ニモアリ
マス通り、私ハ矢張り此ノ相續税ハ財產税
ノ一種トデモ見得ルモノデハナイカトモ考
ヘラレルノデアリマス、ソレハ兎モ角ト致
シマシテ、微衷ノ點ハ御諒承相成ツヤウデ

ゴザイマシテ、尙本法施行ト山林相續税ノ
事ニ付テハ根本的ニ御考慮下サイマシテ、
近キ税制改正ノ際ハ十分御考慮下サルヤウ
ナ御意思ニ拜聽致シマシタ、重ネテ此ノ上
ハ質問ハ繰返シマセヌ
○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 他ニ大藏省
ノ政府委員ニ御質問ノ方ハゴザイマセヌカ、
ゴザイマセヌケレバ今日ノ會議ハ之デ一時
止メマシテ、明日ハ色々差支ガアルヤウデ
ゴザイマスカラ、此ノ次ハ明後日、八日ノ
午前十時カラト云フコトデ、彙報ヲ以テ御
通知ハ申上ゲマスケレドモ、御含ミ置ヲ願
ヒマス、ソレデハ今日ハ之デ散會致シマス
午後三時二十三分散會
出席者左ノ如シ
委員長 伯爵川村鐵太郎君
副委員長 男爵三須 精一君
委員
公爵一條 實孝君
侯爵佐竹 義春君
子爵伊集院兼知君
子爵鍋島 直繩君
子爵梅園 篤彦君
木場 貞長君
男爵小畑大太郎君
男爵近藤 滋彌君

松本 學君

宇野 勇作君

小林嘉平治君

山本 米三君

絲原武太郎君

國務大臣

農林大臣 櫻内 幸雄君

政府委員

北海道廳長官 半井 清君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

農林政務次官 松村 謙三君

農林省山林局長 村上富士太郎君

樺太廳長官 棟居 俊一君